

平成29年度 政務活動費支出整理簿

(会派名 市民派無所属西東京)

経費項目	視察研修費		
整理番号	月日	支出額(円)	支出内容
7-1	5/15	237	議会運営委員会他視察交通費(行き 田無～高田馬場)
7-2	5/15	15,460	" (行き はやぶさ3号 東京都内～八戸)
7-3	5/15	1,140	議会運営委員会視察交通費(移動 本八戸～久慈)
7-4	5/15～16	11,020	議会運営委員会視察宿泊費(久慈第一ホテル)
7-5	5/16～17	11,772	レンタカー代(久慈駅東口～一関 走行距離275km)
7-6	5/17	2,000	ガソリン代(久慈駅東口～一関 走行距離275km)
7-7	5/16～17	9,200	山田町・陸前高田市視察宿泊費(休暇村陸中宮古)
7-8	5/17	12,820	山田町・陸前高田市視察交通費(帰りやまびこ60号一ノ関～東京)
7-9	5/17	680	山田町・陸前高田市視察交通費(帰り東京～武蔵境～富士見橋)
7-10	5/14	2,245	八戸市防災部澤目氏・久慈市NPO法人琥珀の泉女沢氏お土産
7-11	5/14	2,391	山田町議会事務局お土産
7-12	5/19	2,741	陸前高田市畠山えみこ議員お土産(配送)
8-1	8/17	5,840	高速料金:練馬～糸魚川(関越自動車道～北陸自動車道:ETC/軽)
8-2	8/17	1,476	ガソリン代:自宅～糸魚川市役所 332.4km
8-3	8/17～18	9,006	糸魚川市・十日町市視察宿泊費(ホテル國富アネックス)
8-4	8/18	1,970	高速料金:糸魚川～柏崎(北陸自動車道:ETC/軽)
8-5	8/18	387	ガソリン代:ホテル國富アネックス～まつだい雪国農耕文化センター 87.3km
8-6	8/18	2,000	大地の芸術祭の里共通チケット代
8-7	8/18～19	7,600	十日町市視察宿泊費(十日町ふれあいの宿交流館)
8-8	8/19	2,940	高速料金:六日町～練馬(関越自動車道:ETC/軽)
8-9	8/19	950	ガソリン代:十日町図書館～自宅 214.0km
8-10	8/16	2,189	糸魚川市役所お土産代
8-11	8/16	1,189	十日町市大嶋由紀子市議お土産代
		15,000	日当計6日分(議会運営委員会他3日・糸魚川市/十日町市3日)
小計		122,253	備考
合計		244,713	

>1>06

W/F/E/7

旅費計算書

視察期間	平成29年5月15日(月)~17日(水)	(会派名)	市民派無所属西東京
視察先	青森県八戸市・岩手県久慈市・山田町・陸前高田市		納田 さおり
視察項目	議会タブレットの運用(八戸市)・災害対策連絡協議会(久慈市)・東日本大震災時の議会対応(山田町)・中心市街地における図書館設置(陸前高田)		(参加人数 1名)


日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
5/15(月)	田無	高田馬場	西武新宿線	16.0	237	
	高田馬場	八戸	JR山手線・東北新幹線	658.9	15,460	はやぶさ3号 乗車券:9,610円 指定席券:5850円
5/15(月)	本八戸	久慈	JR八戸線	55.6	1,140	
5/16(火)~ 17(水)	久慈駅	一ノ関駅	ニッポンレンタカー	275.0	11,772	久慈駅東口~ホテル:80.2 km・ホテル~山田町役場: 33.2km・山田町役場~ア バッセたかた:78.2km・ア バッセたかた~陸前高田市 役所~市内被災地:約 25km・アバッセたかた~一 関駅:59.3km
	久慈駅	一ノ関駅	ガンリン代	250.9	2,000	
5/17(水)	一ノ関	東京	JR東北新幹線	453.5	12,820	やまびこ60号 乗車券:7,340円 指定席券:5,480円
	東京	武蔵境	JR中央線	30.5	464	
	武蔵境	富士見橋	西武バス	3.1	216	
小 計					44,109	
日当	2,500円× 3 日				7,500	
宿泊費	11,020 円× 1 泊				11,020	久慈第一ホテル
	9200 円× 1 泊				9,200	休暇村陸中宮古
参加費等					7,377	視察先お土産
合 計(1人当り)					79,206	
総合計	1 名				79,206	

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 237 円
- 2 支 払 先 西武鉄道
- 3 件 名 議会運営委員会視察交通費 (行き)
田無駅～高田馬場駅 運賃
- 4 支払年月日 平成29年5月15日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 市民派無所属西東京
 代 表 者 納田 さおり 

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 7-2

調査研修費		【内容説明欄】 平成29年5月15日(月)~17日(水) <議会運営委員会視察> 八戸市(議会タブレットの運用) 久慈市(災害対策連絡協議会等) <個人視察> 山田町:東日本大震災時における議会対応 陸前高田市:中心市街地における図書館建設
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

7-2
お客様控

クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R001
有XX-XX

会社名・会員番号 [REDACTED] -XXXXXXXXXXXX [REDACTED] (JR東日本)
取引内容:お買上 支払区分: - 括 ￥15,460

商品名 指定券 1枚(冊)
5月15日 はやぶさ 3号 東京→八戸 乗車券込み
乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。
払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。
この控は大切に保存してください。

29.-5.15 60475-02 東京駅MV34発行

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。


様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1 金 額 1,140 円
- 2 支 払 先 JR東日本
- 3 件 名 JR八戸線 本八戸～久慈 運賃
- 4 支払年月日 平成29年5月15日

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 市民派無所属会派代表

代 表 者 納田 さおり 

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 7-5
7-6

調査研修費		【内容説明欄】 平成29年5月15日(月)~17日(水) <議会運営委員会視察> 八戸市(議会タブレットの運用) 久慈市(災害対策連絡協議会等) <個人視察> 山田町:東日本大震災時における議会対応 陸前高田市:中心市街地における図書館建設
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		



レンタカーご利用明細書 (領収書)

2017/05/17
R_NO FMD44811-
AF20

借受人 ノウタ サオリ 様
運転者名 ノウタ サオリ 様

帰着時精算額 972 お支払い総合計 11,772
現金 972

基本料金 7,560 超過料金 972
乗捨料金 1,080 CDW 2,160

クレジット 0
クレNO. 会社
登録番号 八戸 50075071 車種 BSL(SH)フィット
出発 17/05/16 16:19 久慈駅東口
帰着予定 17/05/17 17:30
帰着 17/05/17 19:28 一関
出発メーター 25,137 KM 帰着メーター 25,412 KM
走行距離 275 KM

合計 11,772
(課税取引額 10,900 内消費税額 872)

現金 10,800 出発時精算 10,800

ご利用賜わり誠に有難うございました。
今後も引き続きご愛用下さいますようお願い申し上げます。

差引精算額 972
コース 安心コース

ニッポンレンタカーサービス株式会社 TEL. 0191-21-3250
一関 営業所 担当者名

7-6

納品書
(領収書)

売上
(有) J.A.ラポート
狐禅寺SS
若手県一関市狐禅寺下76
TEL:0191-21-2840 SS:213400673
2017/05/17(水)19:04

種
上 21-340-000-000000000-000-01
現金フリ
区分 10
行01 No.9892
レギュラー P-12
15.63L/リ @128.0¥2000

合計 ¥2,000
(内消費税等 ¥148)
お預り ¥2,000
お釣り ¥0

酸性雨・紫外線から愛車を守る!
※ナノポリマー洗車※
毎週木曜日は『洗車の日』

係員: 山 No.1981

1. この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
2. この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号 _____

調査研修費		【内容説明欄】 平成29年5月15日(月)~17日(水) <議会運営委員会視察> 八戸市(議会タブレットの運用) 久慈市(災害対策連絡協議会等) <個人視察> 山田町: 東日本大震災時における議会対応 陸前高田市: 中心市街地における図書館建設
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

ご請求・領収書

Bill/Receipt



りくちゅうみやこ

陸中宮古

TEL 0193-62-9911

FAX 0193-62-9913

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	ご利用日 Date
322	Mr. 納田 里織 様	17.05.16 - 17.05.17(1泊)

日付 Date	摘要 Discription	単価 Price	数量 Count	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
05.16	【平日限定1名1室(OTA)】1泊2食バ 夕食 夕食バイキング(大人) 朝食 朝食バイキング(大人)	9,200	1	9,200		
05.16	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
05.16	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
05.16	OTA決済利用				9,200	楽天トラベル



ご請求・領収書

Bill/Receipt



りくちゅうみやこ

陸中宮古

TEL 0193-62-9911

FAX 0193-62-9913

客室番号 Room No.	お名前 Name Of the Guest	ご利用日 Date
322	Mr. 納田 里織 様	17.05.16 - 17.05.17(1泊)

日付 Date	摘要 Discription	単価 Price	数量 Count	料金 Charges	お支払 Payment	備考 Remarks
05.16	【平日限定1名1室(OTA)】1泊2食バ 夕食 夕食バイキング(大人) 朝食 朝食バイキング(大人)	9,200	1	9,200		
05.16	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
05.16	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]		
05.16	OTA決済利用				9,200	楽天トラベル
小計 Sub Total					9,200	

(内消費税 Con.Tax ¥776)

ご請求額 Balance Due	[REDACTED]
ご返金額 Refund	



印紙税法第五条
別表第一の規定
により印紙は貼
付しません。

<振込先>

[REDACTED]
口座名 [REDACTED]

No. 201705160029
発行日 2017.05.16

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 7-8

調査研修費		【内容説明欄】 平成29年5月15日(月)~17日(水) <議会運営委員会視察> 八戸市(議会タブレットの運用) 久慈市(災害対策連絡協議会等) <個人視察> 山田町:東日本大震災時における議会対応 陸前高田市:中心市街地における図書館建設
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

7-8

お客様控 クレジットカードご利用票 / CREDIT CARD SALES SLIP R001

会社名・会員番号 ██████████XXXXXXXXXX██████████ 有XX-XX

取引内容:お買上 支払区分: - 括 (JR東日本)

¥12,820

商品名:指 定 一 券 2枚(冊)

5月17日 やまびこ 60号 -ノ関→東京 乗車券込み

乗車変更や払戻しの取扱箇所、内容、方法等に制限があります。

払戻しの際は購入時のカードをお持ちください。

この控は大切に保存してください。

29.-5.17 60335-02 -ノ関駅VF01発行

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

様式第1号 (第3関係)

支 払 証 明 書

- 1. 金 額 680 円
- 2. 支 払 先 西武鉄道・西武バス
- 3. 件 名 山田町・陸前高田市視察交通費 (帰り)
東京駅～武蔵境～富士見橋 運賃
- 4. 支払年月日 平成29年5月17日 (水)

上記のとおり支払したことを証明します。

会 派 名 市民派無所属西東京
 代 表 者 納田 さおり



領収書添付用紙

経費項目 * 該当費目に○をつけてください。

整理番号

7-10
7-11
7-12

調査研修費		【内容説明欄】 平成29年5月15日(月)~17日(水) <議会運営委員会視察> 八戸市(議会タブレットの運用) 久慈市(災害対策連絡協議会等) <個人視察> 山田町:東日本大震災時における議会对応 陸前高田市:中心市街地における図書館建設
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

領収証

03133号
2017年05月14日(日)
0001-1981

納付者 市派無所属西栗会派代表
納付日 5/14 様

八戸市 沢目氏 お土産
久慈市 非常利治 法人琥珀の会代表 女性 お土産

株式会社旭製菓 田無店
東京都西東京市田無町4-26-8
電話042-451-2258

¥2,245.-
(内消費税等 ¥166)

但し、上記 正に領収致しました

7-10

領収証

09838号
2017年05月14日(日)
0001-7295

納付者 市派無所属会派代表
納付日 5/14 様

山田町 議会事務局 お土産

株式会社旭製菓 本社直売店
東京都西東京市泉町5-16-3
電話042-421-4156

¥2,391.-
(内消費税等 ¥177)

但し、上記 正に領収致しました

7-11

西栗名物 旭のかりんとう
株式会社 旭製菓

陸前高田市 12時03分
本社直売店
電話042-421-4156
東京都西東京市泉町5-16-3
2017年05月19日(金)

外税	8.00%	¥2,338
ミックス		¥200
お品代		¥2,538
小計	2点	¥2,538
(外税対象額)		¥2,538
外税	8.00%	¥203
合計		¥2,741
現金		¥10,041
お釣り		¥7,300

5点

責任者: AM
店 No. 00001 レジ: 0001 レジトNo. 7593

年末年始を除き年中無休です。



付けていただくもので
貼付けしないようにし

7-12

青森県八戸市視察報告書

日時：平成 29 年 5 月 15 日（月）13：00～14：30

場所：八戸市議会事務局

テーマ：市議会におけるタブレット端末の導入とペーパーレス化の取り組み

* 議会運営委員会視察に委員外議員として参加

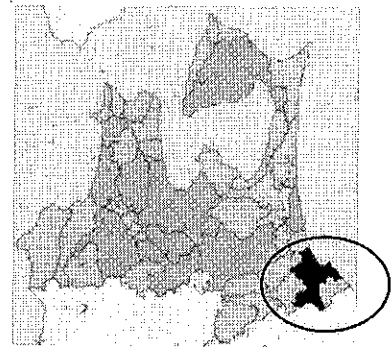
1. 八戸市の概要

人口：225,841 人（H29.4.1 現在）

面積：305.56 km²

S4 年市制発足、H29.1.1 中核市に移行

漁業：水揚げ高全国上位 10 位・特定第三種漁港
うみねこの繁殖地としても有名



2. 八戸市議会 議会改革の取り組み

① 委員会の設置

- ・議会改革検討委員会 H23.6.10.～H27.2.18
- ・議会改革推進委員会 H27.6.23～現在

② 主な議会改革の取り組み事項

- ・一問一答方式導入・質問者席設置（H25 第二回定例会～）、
- ・議会基本条例の制定（H27.4.1 制定）
- ・議会報告会の開催（H27.1.28～）
- ・請願・陳情者の趣旨説明（H27 第一回定例会～）
- ・タブレット端末の導入（H27.9～運用開始）
- ・政務活動費出資報告書答の市議会 HP での公開範囲の拡大（H28.10 実施）

3. タブレット端末導入とペーパーレス化の取り組み

① タブレット端末導入までの経緯

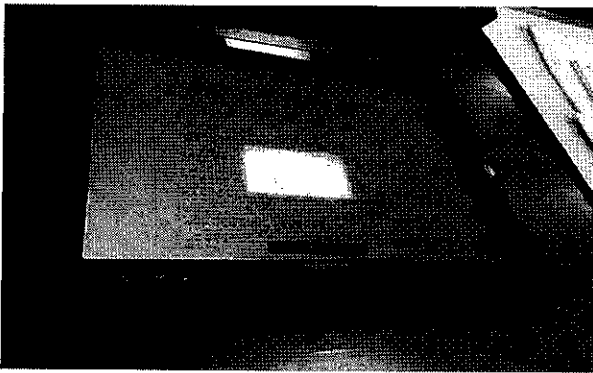
- ・ H25. 7. 1 埼玉県飯能

市議会を視察

- ・ H25. 8. 21 協議事項としてタブレット端末導入が決定
- ・ H25. 11. 21 N T T ドコモによるデモンストレーション
- ・ H26. 12. 8 議会改革検討委員会において導入を決定し、議長へ答申
- ・ H27. 8. 7 ペーパーレス会議システム公募型プロポーザルを実施
- ・ H27. 9. 1 運用開始

② 導入機種・台数

- ・ 議員用 : iPad Air2 Wi-Fi+Cellular モデル 16GB 35 台
- ・ 事務局用 : iPad Air2 Wi-fi モデル 16GB 7 台



③ 予算 : 初年度導入費用 : 約 239 万円

- ・ 端末新規契約事務手数料 : 1 台 3000 円 + 消費税
- ・ 月額通信料 : 5, 942 円 (1/2 は政務活動費で負担)
- ・ タブレット用カバー : 2790 円

④ ペーパーレス会議システム

- ・ 執行部もタブレット端末導入 (Surface 導入・Windows ベースを希望した為) を決定し、議会以外の会議でも使用する事になった為、執行部側が導入
- ・ moreNOTE (富士ソフト株)

⑤ 導入の効果

(1) メリット

- ・紙使用料の削減(削減枚数:定例会・常任委員会等・約 24,000 枚(H27.9~H29.1)、会議録等の廃止・約 23,000 枚(H27.9~H29.12))
- ・本会議・予算・決算特別委員会会議録冊子の議員への配布廃止
- ・経費削減・事務改善(会議開催通知・連絡等の送付の簡略化)
- ・情報伝達の迅速化
- ・政務活動調査の充実

(2) デメリット

- ・会議資料に速やかにメモする事が紙資料と比較して容易でない。

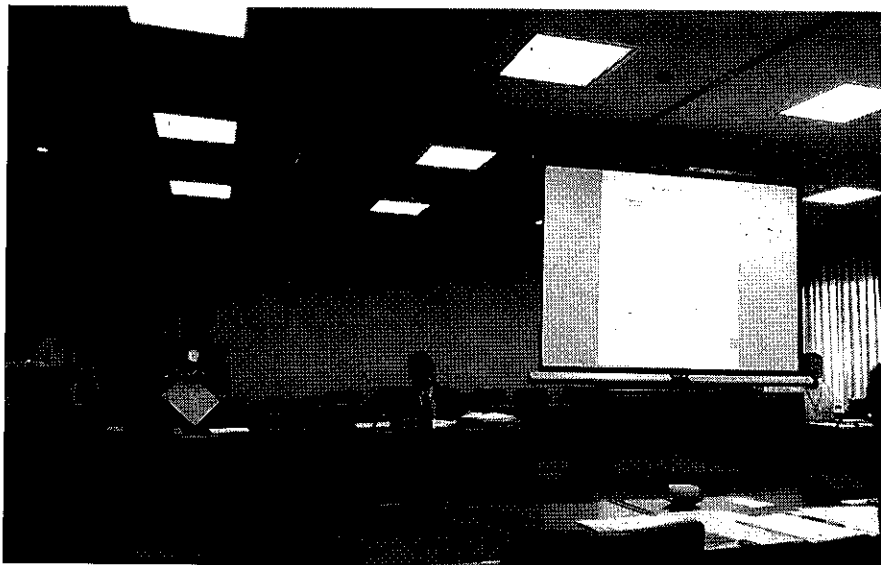
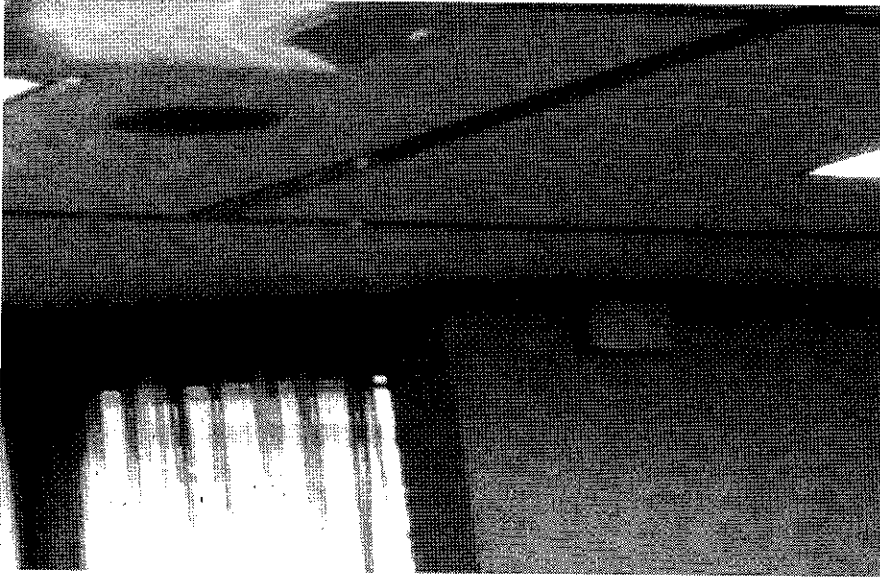
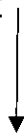
⑥ タブレット端末の使用状況

- ・タブレット端末使用可会議(H27.9~):本会議・議会運営委員会・常任委員会・特別委員会・委員会協議会・議員全員協議会・各派交渉会・議会改革推進委員会等
- ・ペーパーレス化対象会議(H27.9~):議会運営委員会・委員会協議会・議員全員協議会・各派交渉会・議会改革推進委員会等
- ・議会⇔議会事務局の連絡文書・提出文書の送受信
- ・情報閲覧・情報収集

⑦ 今後の課題

- ・ペーパーレス化対象会議の拡大
- ・ペーパーレス化資料の拡大
- ・タブレット機能・アプリケーションソフトの有効活用
- ・会議システムの改善
- ・契約通信料 2GB をオーバーした際の通信速度低下の対応

- ・会派控室へのアクセスポイントの設置

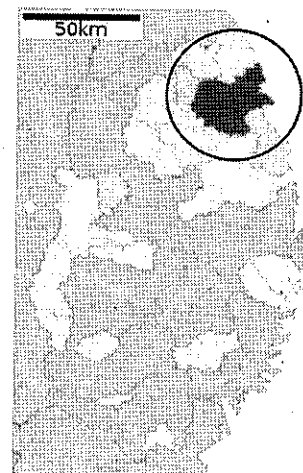


岩手県久慈市視察報告書

日時：平成 29 年 5 月 16 日（火）10：00～12：00

場所：久慈市議会事務局

テーマ：災害時にチーム議会としてできること
～3.11 と台風 10 号の二度の災害から～



1. 久慈市の概要

人口：35,909 人

面積：623.5km

S29 年市制発足、H18.3.6 山形村と合併

産業：農業・漁業・琥珀、北限の海女が有名

2. 東日本大震災における議会・議員の行動状況

①久慈市の被害状況

- ・人的被害：死者 1 人・行方不明者 2 人・負傷 10 人
- ・建物被害：全壊 355 棟・大規模半壊 89 棟・半壊 410 棟・一部損壊 394 棟
- *二本の二級河川（久慈川・内川）で津波の力が分散し、被害の多くは海岸部にとどまった。

②発災直後の議会・議員の状況

(1) 第一回定例会の状況

- ・会期：2/21～3/16
- ・3/10 が予算特別委員会最終日、3/11 は事務整理日。

(2) 議員の安否確認・被災状況

- ・電話不通により確認が困難、伝え聞きにより全員確認まで数日かかる。
- ・副議長宅が家屋全壊、議長・副議長間の仲介は議会事務局が行うことに。

(3)最終日本会議 (3/16) の開催是非

○開催決定までの流れ

<施設>

- ・本会議場の状況確認：設備等に震災の影響はなく開催可能

<議会>

- ・議長と議会運営委員長間で、開催の可否・是非、災害対策特別委員会の設置について協議。震災対応で忙殺される執行部への配慮と、避難所や地域で活動している議員の状況が不明で、参集可能か不安があった。

また、4月に統一地方選挙があるので災害対策特別委員会を設置しても任期満了ですぐに消滅する事が疑問視されたが、結果的に最長9月までの選挙延期特例法が制定された為、設置に向けた本腰が入る。

<執行部>

- ・議会事務局と執行部間で、説明員の出席対応の可否、応急復旧予算の編成の審議または先決処分を協議。応急復旧予算は専決処分に対応とし、本会議は通常通りの開催決定。

○本会議当日 (3/16 13:30~14:17)

- ・全議員・全執行部出席の元、通常通り平成23年度当初予算他、全ての議案(請願・陳情含む)を議決。
- ・発議案42号「東北地方太平洋沖地震災害対策特別委員会」設置を可決。

(4)第一回定例会閉会から統一地方選挙まで

○実施した会議

- 3/16 災対特別委員会設置
- 4/5 第一回特別委員会：執行部説明・現地調査・質疑
- 4/18 会派代表者：議員報酬削減・政活費凍結の協議
- 4/26 臨時会：5会計2条例の専決処分
- 4/26 第二回特別委員会：執行部説明・質疑
- 5/17 全員協議会：復興計画策定の協議

- 6/16 第二回定例会開会：1 会計 1 条例の専決処分
- 6/16 第三回特別委員会：執行部説明・質疑
- 6/24 常任委員会所管事務調査：現地調査
- 6/28 特別委員会消滅 定例会閉会



* 災害対策特別委員会での課題

○課題

- ・議運の委員長機関で対応したが、機能しなかった。どのように動いてよいのか解らなかった。
- ・現地視察等を行っても何が出来たか実感が無かった。
- ・執行部を呼んでも、議会としての提言まで行かなかった。

③ 復興過程における事業の中止・見直しにおける議会の関与

(1) 大型防災公園の建設における付帯決議 (H25.6 補正予算)

- ・社会資本整備総合交付金による防災拠点施設整備計画 (概算 48 億円) が浮上
- ・政策決定過程 (整備方針・内容・適地選定・住民合意・財政的体力) の内容に疑義を付帯決議で示す。
- ・H26.3 の市長交代で 28 億円まで事業圧縮。

(2) 復興道路に関する住民請願を審議未了のまま廃案

- ・津波に対する多重防御機能として、約 10m の嵩上げ盛土工法による復興道路の整備計画。
- ・国に対し工法変更を求める請願が市民より提出 (復興道路がまちを二分するという理由)、委員会審査は困難を極め、結論が出ないまま任期満了で審議未了。

④ 東日本大震災で顕在化した議会・議員の課題

(1) 議事機関として

- ・ 議会事務局が市災対本部の協力班となり、議事機関の機能に課題。
- ・ 行政の継続性は維持されるのに、議事機関としての継続性や機能回復の仕組みがそもそも無い。

(2) 議員の行動

<発災直後>

- ・ 何か協力できる事はないかと議員が議会事務局を訪れても、市災対本部から議会・議員に協力要請が無い（そもそも想定されていない）、議会事務局も本部付きの仕事で議員対応も出来ないという状況の為、やむなく帰ってもらう事になった。
- ・ 山間地域の議員が、海岸地域の支援活動に入る事へのためらいがあった。
- ・ 議員が市役所各部局に対し、直接要求・要望を行うことで、市災対本部の被災対応の優先順位に混乱と狂いを生じさせる恐れがあった。
- ・ 災害対策特別委員会を設置するも、執行部の説明に対する質疑で終始し、他律的で受身的な委員会運営になった。

<復旧・復興過程>

- ・ 復旧・復興事業が行政にどんどん進められ、議会は事業予算の追認・事業執行状況の監視（一般質問等で）といった点の関与しか出来なかった。
- ・ 議員間討議による検証が出来なかった。
- ・ 住民と共に作る提言ができなかった。

③ 教訓と展望：もっと何かが出来たはず

(1) 安否確認のための連絡手段の確保

- ・ 議会 ICT 化・タブレット端末の導入

(2) 災害情報の一元化・共有化

- ・ 議会内部の情報収集機能が必要
- ・ 市災対本部との情報共有体制の構築も必要

(3) 議員のできる事、やってはいけない事の把握

- ・ 避難所運営における陣頭指揮：避難者・地域住民に役割を割り振れる。
- ・ 被災者情報をいち早く把握：個別状況を詳細に把握しやすい立場にいる。
- ・ 各部局への個別要望は優先順位の混乱を生じさせる恐れがある事を理解する。

(4) 議会運営自体の活性化

- ・ 復興への提言を主眼にした議員間討議を実施する。
- ・ ファシリテーションを学び市民と共に提言づくりを行う。
- ・ 公聴会等により専門的知見を学ぶ。
- ・ 政策法務力を向上し、議決事件を追加する。
- ・ 通年議会等、議会制度改革を活用する。
- ・ 他自治体議会の先例を学ぶ（宮古市(執行部に提言書提出)、陸前高田市（復興計画を議決・法政大と災害連携協定締結）、大船渡市(災害対応指針策定)、奥州市（議会間における物資支援）

3. 市議会災害時対応マニュアル策定

① 決定：H25. 10. 7 議員全員協議会

- ・ 参考：仙台市議会・大船渡市議会の指針

② 災害の定義

- ・ 震度 5 以上の地震
- ・ 大津波警報
- ・ 気象警報・高潮警報・波浪警報（海上は除く）・洪水警報・津波注意報・津波警報が発表、相当規模の災害発生時
- ・ 大規模火災・爆発等により相当規模の災害発生時

- ・ 気象特別警報・高潮特別警報・波浪特別警報のいずれかが発表され、相当規模の災害発生時

③ 設置基準

- ・ 災害発生に伴い、議会災害対策連絡会議が自動設置
- ・ その他議長が認める時に設置

④ 組織：議会災害対策連絡会議（議会連絡会議）

- ・ 構成員：会派代表者協議会の構成員
- ・ 議長：会議の代表・事務の統括
- ・ 副議長：議長の補佐・事故ある時の職務代理者
- ・ 議長は必要と認める時はその他の議員の参加を求める事が出来る。

⑤ 所掌事務

- ・ 議員の安否確認
- ・ 議員からの情報収集・整理、市災対本部に提供
- ・ 市災対本部からの災害情報収集、議員へ提供
- ・ 市災対本部からの依頼事項に関する事
- ・ その他議長が認める事項

⑥ 議員の行動

- ・ 自らの安否・居所または連絡場所を議会連絡会議に報告。連絡体制を確保する
- ・ 居住地・最寄りの避難所の運営ほか、各地域の災害支援活動に協力する
- ・ 被災者の相談に乗り助言を行う
- ・ 被災及び避難所等の状況を必要に応じ議会連絡会議に報告する
- ・ 情報の一元化を図る為、市災対本部への情報提供・要望等は議会連絡会議を通じて行う

4. 久慈市議会基本条例制定：H26. 3. 4 施行

- ・ 通称「久慈市議会じえじえじえ基本条例」：前文を久慈方言に。

- ・東日本大震災時の課題（参考：2-③-(4)）を反映
- ・公聴人制度の積極的活用（8 条 1）
- ・陳情・請願提出者の意見表明の機会の確保（8 条 2）
- ・「かだつて会議（市民と議会が協働して市政課題を話し合う場）」設置（8 条 3）
- ・年 1 回以上の議会報告会実施（8 条 4）
- ・総合計画の基本構想の策定・変更・廃止に関する議決事件の追加（10 条）
- ・一問一答による質疑（11 条）
- ・市長の反問権（12 条）
- ・議員間討議（13 条）
- ・専門的事項に係る調査への専門的知見の活用（自治法 100 条の 2）の積極的活用（15 条）
- ・ICT の積極的活用（16 条）
- ・調査機関の設置（17 条）

5. 議会間災害時応援協定締結

- ・協定先：千葉県袖ヶ浦市議会
- ・議員間友好交流協定締結：H26. 7
- ・視察来訪（H25. 5、H26. 1）がきっかけとなった。

6. 平成 28 年台風 10 号における議会災害対応

① 久慈市の影響

- ・8/28 15:00 最低気圧 940hP 大型で非常に強い台風（8/29 23:00 大型で強い台風に変わる）
- ・岩手県では 8/29～30 にかけて沿岸地方を中心に連続降雨。8/30 18:00 前大船渡市付近に上陸し、局地的に猛烈な雨となった。総降雨量 300mm。
- ・久慈市では久慈川と長内川が氾濫、二つの河川に挟まれた広範囲が浸水。山間部の 1279 世帯、3008 人に避難準備情報を発令（9/13 全ての集落で孤立解消）

② 久慈市議会第三回定例会の日程変更

- ・会派代表者協議会で緊急協議：議員全員の安否確認、日程変更（9/1～9/15 →9/7～9/27）、災害対策連絡会議の設置決定。
- ・議会事務局・執行部間の協議：本会議延期に係る説明員の対応の可否の確認、応急復旧予算の指定専決処分決定

③ 災害対策連絡会議の活動：初動期の有効性

(1) 市災対本部との情報共有体制

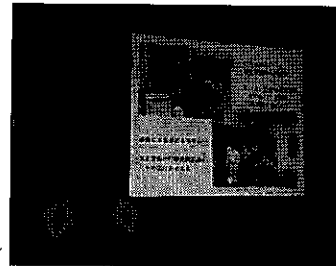
- ・グループウェア上に「市災対本部情報掲示板」立ち上げ。
- ・ホワイトボード情報や会議資料を逐次更新。
- * ・交通規制、災害ごみ、ボランティアセンター設置 等

(2) 災害対策連絡会議の情報収集体制

- ・グループウェア上に「連絡会議掲示板」立ち上げ。
- ・議員から災害情報を収集し、1 時間毎に市災対本部に情報提供。
- ・Google フォトを利用し、議員が被災状況写真を投稿、共有。

④ 議会連合審査会による被災状況調査

- ・議運で対応を協議、連合審査会にて調査方針
- ・混合チーム 5 班体制で被災地（9/8：市街地周辺・9/15 山間部集落）を現地徒歩調査。（災害時応援協定を結ぶ袖ヶ浦市議会代表も同行）
- ・調査後、被災対応の取組優先順位を議員間で協議（かだつて会議（議会基本条例 8 条 3）におけるファシリテーションの経験が役立つ）
- ・優先事項を即日市長に報告
- ・連合審査会にて調査報告書を取りまとめ、9/23 調査報告書を市長に送付。
- ・行政の調査は被災箇所を中心に災害査定のための一次調査だが、議会は被災者中心の調査となった。



7. 二度の災害を踏まえて

- ① 被災調査における ICT 活用の有用性：議員の圧倒的な地域情報量・情報網による有益な情報が集約。市災対本部でもっと生かされるべきである。
- ② 議会版タイムライン：現行の災害時対応マニュアルは発災後の対応を定めているが、事前予測が可能な台風についてはタイムラインの有効性も検討すべき。
- ③ 議会間災害時応援協定に基づく受援計画：袖ヶ浦市議会からは代表議員が派遣され調査活動に同行したが、議会レベルでの連携・支援は未知数。
- ④ 議会施設・設備の活用：市庁舎で唯一ネット生中継が可能。情報発信に有効的。議員室は避難や職員の仮眠に活用できる。
- ⑤ 議会リードでコミットできる中長期的防災政策領域の研究・検討：常任委員会による政策提言づくり。(ICT 活用・仮眠室の提供など)

岩手県山田町視察報告書

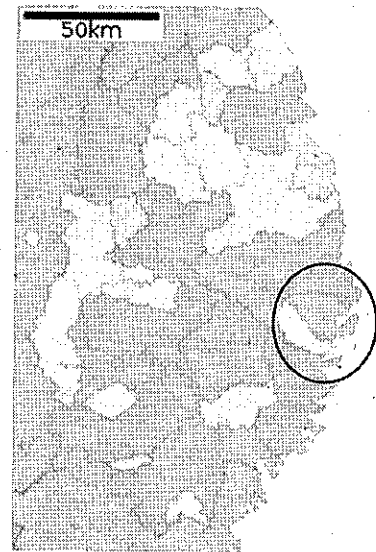
日時：平成 29 年 5 月 17 日(水) 10:30~12:00

場所：山田町議会事務局

テーマ：東日本大震災時と町議会の対応、
災害時議会行動計画等について

対応：危機管理室長補佐：川村壽恵男氏（任期付
き職員・元自衛隊員）

議会事務局長：福士雅子氏



1. 山田町概要

人口：15,201 人 (H30. 4. 1)

面積：262.81 km²

M22 年町政発足 主な産業：水産業（牡蠣・ホタテの養殖業 多）

江戸時代にオランダ船が入港した歴史がある。



山田町役場屋上にて
危機管理室長補佐の川村氏と共に。

2. 東日本大震災における山田町の被災状況

① 最大震度：5 強（町役場は 5 弱）

② 人的被害：死者 824 人・行方不明者 1 人

③ 家屋被害：全壊 2,762 棟・大規模半壊 202 棟・半壊 203 棟・一部損壊 202 棟
被災家屋の合計 3,369 棟（全体の 46.7%）

* 大津波後に発生した火災の影響が大きい。

④ 産業被害：牡蠣・ホタテの養殖業、半数以上壊滅（4,500 台→2,100 台）、
町の観光拠点壊滅

⑤ 町災害対策本部：発災後直ちに立ち上げ。町内 7 地区に支部を設置。

⑥ 津波火災の状況

14 : 46 地震発生

14 : 49 大津波警報発表

15 : 22 津波襲来、防潮堤 (8.35m) 決壊

15 : 25 津波火災発生、自動車のガソリン等に引火し、爆発を繰り返しながら深夜まで延焼。(町役場は風向きが変わり延焼を免れる)

⑦ 人口変動

被災前 : H23 年 3 月 1 日 19,270 人

被災後 : H29 年 5 月 1 日 16,052 人 (減少率 16.7%)

⑧ インフラ被害

電気 : 4 月中旬まで停電。町役場は自家発電。

水道 : 5 月上旬まで断水。当山地区はさらに長期間の断水。

鉄道 : JR 山田線は現在まで不通

道路 : 国道 45 号は 3 月 24 日共用開始、3 月下旬通行可能に。(H29 年 1 月 29 日~嵩上げた新道路に切り替え)

⑨ 避難状況

・町内 35 か所に最大 5,700 人が避難

・避難所運営 : 開設当初は町役場職員が中心となって運営。その後、他市町村の応援職員・自治会・緊急雇用による臨時職員等が運営。

⑩ 災害支援関連の諸課題

○災害ボランティアセンター

・災害ボランティアセンターは、町社協のマンパワー不足で、発災後速やかに開設ができなかった。

・ボランティア受け入れのスキルも無く、沢山のボランティアが結集しても案内が出来なかった。

- ・ 全社協の支援が入り、4月9日から静岡県社協が中心にボランティアセンター開設。
- ・ 災害救援物資の受け入れ・仕分け・配送を全国のボランティアが担う。長野県からそばの炊き出し、北海道積丹観光協会からお寿司屋さんの炊き出し等も受け入れできるようになった。
- ・ 不足していた医療系ボランティアも受け入れ可能になった。

○被災者雇用創出事業委託事業者の不正会計問題

- ・ 県社協の紹介により、旭川市の大雪りばあねっと（河川救助や環境保全等を行う NPO 法人）が山田町の支援活動開始。町は行方不明者捜索が出来る団体として受け入れる。
- ・ H23 年 5 月に雇用事業委託契約、12 月無料公衆浴場「御蔵の湯」開設。
- ・ H24 年 4 月に H24 年度の雇用事業委託契約を 7 億 9 千万円で締結。しかし 12 月に当団体の残高が 75 万円である事が発覚し、山田町は事業打ち切りを決定、団体は従業員 137 人全員を解雇。解雇された元従業員は労組を結成。
- ・ H24 年 12 月、町議会は復興やまだ応援事業調査特別委員会を設置。
- ・ H25 年、岩手県は使い切った事業費 7 億 9100 万円のうち 4 億 8300 万円を不適切支出と判断し補助対象外に。3 月 26 日の臨時会で減額補正対応、町はこの穴埋めで財政調整基金の取り崩しを行った。
- ・ 町民団体がこれを不服とし、4 月 2 日に町議会の解散請求書を町に提出し署名活動を開始した。（署名数未達成か）
- ・ 団体は H25 年 5 月に破産手続開始、負債総額 5 億 6000 万円。
- ・ H26 年 3 月、山田町が、団体の代表他 4 人が H24 年 10 月上旬に山田町から前払いされた事業委託料 3,000 万円を私的に流用した業務上横領を岩手県警に告訴、容疑者は逮捕。H28 年代表が懲役 6 年の実刑判決。



7 月に自衛隊が撤退した後、銭湯設置の町民要望が多かった事から開設された無料公衆浴場「御蔵の湯」
県の下承を得ながらリースで建設し、大雪りばあねっとが運営する事になっていたが、どこの誰の所有となるのかいまだにわからないと前市長が市議会の聞き取り調査で答えている。

3. 東日本大震災発生時の町議会・議員の対応

① 山田町議会議員定数 14 人（発災時：16 人・H27 年 2 人定数削減）

② 発災時の議会開催状況

○3 月 11 日：第 1 回定例会 4 日目

13：28 予算特別委員会終了 休憩

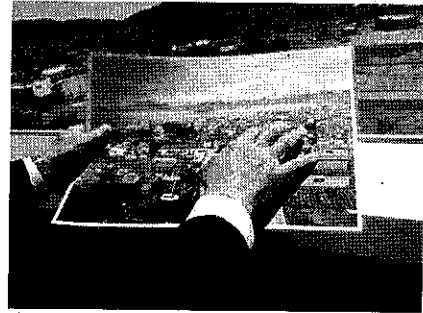
14：46 地震発生

14：49 大津波警報発表

15：12 本会議開会

15：15 延会決定

15：22 津波襲来



発災当時の激しい津波火災の被害状況の説明を受ける。

○3 月 24 日 第一回定例会 5 日目最終日

10：00 平成 23 年度一般会計予算他 8 件を可決し閉会

* 招集通知は、議会事務局職員が避難所を回って通知を直接届けた。

③ 発災当日の議員の行動

・地震発生前の休憩時間に一旦自宅に帰宅し、そのまま自宅待機した議員 3 人（15：12～の本会議には参集できなかった）

・帰宅しようとして津波の犠牲になった議員 1 人

・帰宅できず、避難所にとどまった

④ その後の議員の行動

・大災害発生時における議会の対応が明文化されていなかった為、議員個々の判断により地元等で活動を行った。

・避難所で活動した議員多い。女性議員は炊き出し。

・議長は自宅が津波被害、大澤地区コミュニティ委員会の会長として避難所運営を行った。

⑤ 議会事務局

○議会事務局長：地域防災計画で町災対本部の総務部副部長

*災対本部の情報を議員に伝える役目も負っているため、職務は議会事務局事務室で対応した。

○事務局職員：避難所対応係。男性：避難所で被災者要望を聞く係（公民館の物資センターから聞き取りしたニーズの品出しも行う）。女性：避難者名簿（行方不明者・へり救出の搬送先・救急搬送先の病院…含む）を町役場1階で公開する係。



仮眠スペースがなく、職員は廊下に椅子を並べて休息した。

- ・通常業務に戻ったのは、3月24日頃。
- ・5月に監査委員室を議会事務局が兼務する事になった。

4. 復旧・復興に向けた町議会・議員の対応

① 全員協議会の開催状況と主な内容

3月24日：町長要請で開催。東日本大震災の現状・「災害復旧・復興予算」の予算編成の説明。

4月7日：町長要請。災害応急対策の説明。

4月27日：町長要請。緊急雇用、仮設住宅、平成23年度予算の組み換え、義援金の説明。

5月11日：町長要請。復興計画策定までの手続きとスケジュール説明。

【議会関係】議員報酬減額・復旧復興特別委員会の立ち上げ他検討。

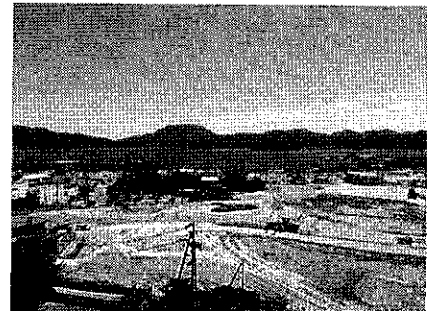
5月23日：町長要請。復興基本方針説明。

【議会関係】特別職給与改正検討。

② 復旧復興特別委員会

5月11日の全協で議長が特別委員会設置を提案。

毎年、年末に町民等聞き取り調査を実施。



復興が進む町中心地域

(1) 任意の委員会 (H23 年 5 月 11 日～6 月 6 日)

- ・ 第二回定例会本会議で特別委員会が設置されるまでの間は、議長を除く議員全員による任意の委員会として設置。

【H23 年】

5 月 11 日：委員長・副委員長の互選

5 月 16 日：復興に向けての最優先課題・山田町復興計画策定委員会委員に復旧・復興特別委員長・副委員長の 2 人の推薦決定

5 月 23 日：復興基本方針の審議

6 月 6 日：町への要望書提出

(2) 第一次復旧復興特別委員会 (統一地方選挙 (H23 年 9 月) まで)

【H23 年】

6 月 8 日：委員長・副委員長の互選

6 月 10 日：町長へ要望書提出

8 月 12 日：復興計画策定の経過報告と計画策定に向けた意見交換、議長へ委員会調査報告書提出

(3) 第二次復旧復興特別委員会

(H23 年 3 回定例会～H27 年 2 回定例会)

【H23 年】

10 月 20 日：委員長・副委員長の互選

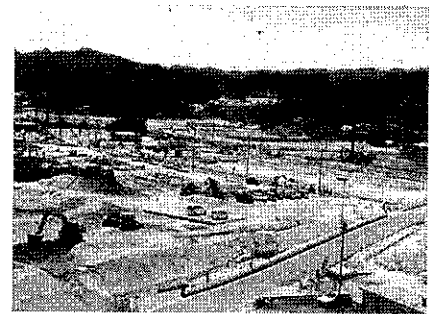
11 月 14 日：地区別復興計画、公的施設の設置場所の在り方

12 月 9 日：各常任委員会での所管事務調査のとりまとめ

12 月 13 日：町長へ復興計画の要望書提出

【H24 年】

2 月 20 日：復興計画に関する説明会・意見交換会に対する要望事項・重要課題等、今後の事業実施計画



嵩上げ工事の状況

5月24日：非居住地域の設定、嵩上げ地域と高台移転地域

6月28日：災害危険区域の指定

8月3日：JR山田線の現状、織笠地区防災集団移転促進事業の大臣同意

9月12日：復興交付金の執行状況、県立山田病院・山田消防署の建設場所

【H25年】

1月25日：高台移転と災害公営住宅の現状・課題と今後の進め方

7月25日：委員長の互選、復興事業の進捗状況

【H26年】

1月24日：復興事業・災害公営住宅の建設等の進捗状況

5月13日：織笠地区高台住宅団地造成工事現場視察、復興支援員の活動

9月5日：JR山田線の見通しについて、町内仮設店舗の移転

11月7日：県立山田病院・山田消防署の建設、駅前商店街

【H27年】

3月16日：まちなか再生計画について、船越第1団地、県立山田病院建設予定地現地視察

5月25日：委員会調査報告書とりまとめ、議長に報告書提出

(4) 第三次復旧復興特別委員会

(H27年第三回定例会～)

【H27年】

10月21日：委員長・副委員長の互選、今後の委員会の進め方・調査事項

12月10日：復興事業の進捗状況

【H28年】

4月13日：防災拠点等現地状況視察

11月1日：復興事業の進捗状況

③ 復興やまだ応援事業調査特別委員会

・被災者雇用事業の委託団体であるNPO法人「大雪りばあねっと。」の不正会計問題を受け、H24年12月11日に設置。

・H26年度まで調査期間を延期。

- ・委員長：議長兼任
- ・調査内容：緊急雇用創出事業・復興やまだ応援事業における NPO 法人大雪りばあねっと。との委託契約内容等を調査、全容究明。
- ・H25. 4. 15、5. 15、二回に渡り、「やまだ議会だより号外」を発行。前市長、副市長、総務課長の聞き取り調査内容の詳細を町民に報告している。



5. 大規模災害時における山田町議会議員行動マニュアル

- ・H29 年 3 月に策定。
- ・議員の情報や要望については、議会事務局が一元化して町災対本部に伝える事になった。
- ・被災当時は何が本当の情報かわからないといった混乱があったため、反省事項とした。

① 目的

東日本大震災の体験を踏まえ大規模災害発生時の議員災害対応における行動マニュアルを定める

② 基本方針

大規模災害発生時は自宅付近の被害状況及びテレビ・ラジオ・防災行政無線等の情報により判断し、以下の基本姿勢に従い行動する。

- (1) 議会：町当局が災害対応に全力で専念し、応急活動を円滑・迅速に実施できるように必要な協力・支援を行う
- (2) 議員：地域の一員として町民の安全確保と応急対応等に当たり、地域における共助の取り組みが円滑に行われるよう努める。
- (3) 災害初期：町当局が出来る限り災害対応に専念出来るよう、議員が知り得た情報の報告や問い合わせは、原則として議会事務局経由で一元化して行う。
- (4) 復旧復興：災害の実情を踏まえ、国・県・関係公共機関等適時適切な要望活動を行い、町の復旧・復興を支援する。

- (5) 議長機関の継続性：議長に事故ある時は副議長が職務を遂行
- (6) 議会事務局職員：地域防災計画で町の災害時配備態勢に組み込まれている事から、既存の枠組みを変えずに対応する。局長に事故ある時は事務局職員が局長の職務を遂行。

③ 大規模災害時の定義

自然災害・人的被害により、被害が広範囲に渡り、復興までに長時間を要し、被災地内の努力だけでは解決不可能なほど、著しく地域の生活機能・社会維持機能が障害されるような災害を言う。

- (1) 地震・津波・高潮・豪雨・洪水・暴風・土砂災害等による甚大な被害があると思われる時。
- (2) 大規模火災、その他事故・テロ等重大な災害が発生した時。
- (3) 震度 6 弱以上の地震発生時。
- (4) その他議長が必要と認める時

④ 行動基準

(1) 前兆期：災害の恐れがある場合

- ・事務局：町災対本部が設置された旨を議長に報告。
- ・議長(委員長)：予定している会議等の原則延期を決定。会議中の場合、休憩・散会・延会の決定を行う。
- ・議会開催の延期については、防災行政無線で周知。

(2) 発生期：災害発生時

- ・議員(議長含む)：自宅付近の被害状況、テレビ・ラジオ、行政防災無線等の情報により、各自で状況を判断し行動。自身や家族等の安全を確認し、速やかに安全な場所へ避難する。
- ・会議中に災害が発生した場合、事務局職員は議長(委員長)の指示により、状況の把握に努め、「町役場庁舎消防計画」に基づき、傍聴者・議員の避難誘導等の安全確保対策を行う。

(3) 初動期：災害発生直後から 3 日間

- ・ 議員：自身の安否や居場所を議会事務局に連絡、以後の連絡体制の確立と維持に努める。自主防災組織・地域の自治会等と連携して活動。
- ・ 議会事務局：議長の指示により各議員に災害情報を提供。

(4) 応急期：災害発生 4 日目から 1 週間

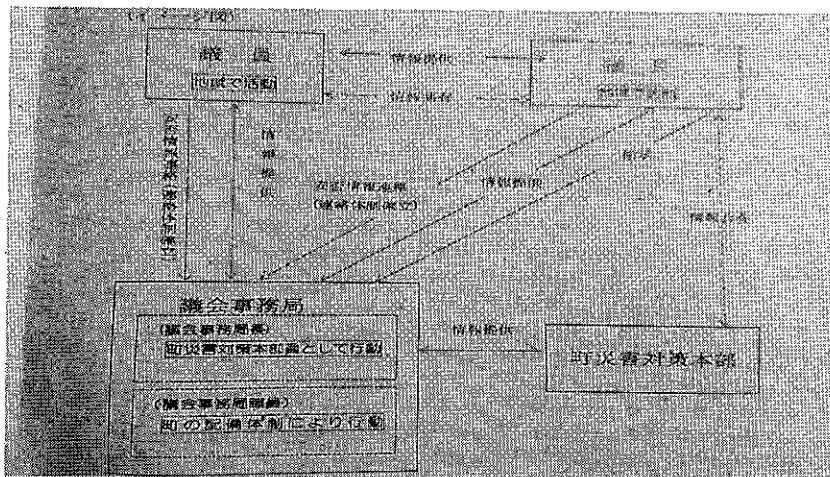
- ・ 議長：災害の程度や周辺状況から判断し、可能であれば登庁して町災対本部から被害状況の報告を受け、情報の共有を図る。
- ・ 議員：自身の安全を最優先とした上で、各地区の被災地及び避難所等において情報収集を行い、議会事務局に連絡をする。
- ・ 議会事務局：各議員からの情報を集約し、必要に応じて町災対本部に提供する。

(5) 復旧・復興期：災害発生 1 週間以降

- ・ 議長：全員協議会を招集し、議員に参集を要請する。
- ・ 必要に応じて町内の現地調査を行い、被害状況を把握すると共に、今後の議会の対応について協議する。

⑤ その他

- ・ マニュアルに定めるものの他、必要事項は議長が定める。
- ・ 変更すべき事由が生じた時は、適宜・適切な見直しを行う。



5. 現在の山田町の復興状況

① インフラ防災

防潮堤：8.35m→9.7m、地盤嵩上げ、高台移転、避難対策強化
高台道路の整備、低地から避難する梯子状の避難道路の整備
防災備蓄倉庫 20 か所設置

② 地域防災強化

自主防災組織：現在自主防災組織化されていない自治会に働きかけ。自主防災に関する説明や意見交換を経て組織化に力を入れている。

避難所運営等、被災実務経験者による伝承をすすめる。

③ コミュニティ形成の取り組み

(1) 新たなコミュニティ形成の課題

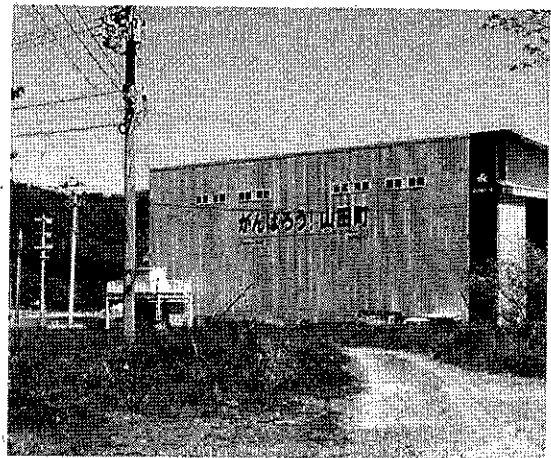
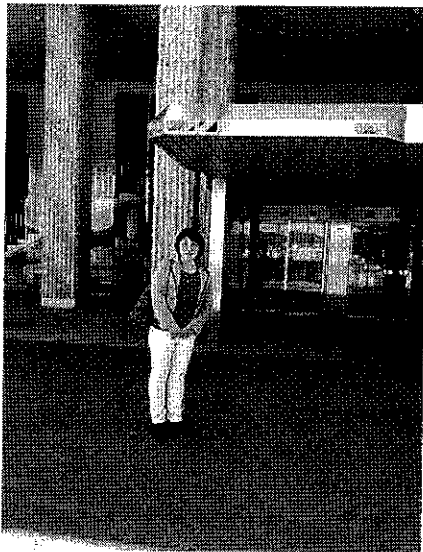
- ・新たな高台団地や災害公営住宅での生活再建が進む中で、仮設住宅等から本設住宅移転後のコミュニティ形成が課題。
- ・H26 年度に「県営豊間根アパート」が初めて完成し、H29 年 4 月末日現在で 11 棟の災害公営住宅が完成（県営 5 棟・町営 6 棟）。
- ・災害公営住宅は全て集合住宅であり、戸建て中心の山田町の生活スタイルにはあまり馴染みが無く、集合住宅ならではの日常のゴミ出しや共益費の集金等、住民自らがルールを作る必要性を外部組織から働きかける必要性があった。

(2) 町営災害公営住宅コミュニティ形成支援事業

- ・H28・29 年度は被災者支援総合交付金を活用。
- ・町営の災害公営住宅のコミュニティ形成支援を県建築住宅センターに委託。
- ・岩手大学、県・町社協から、それぞれアドバイザー及びファシリテーターが参加。
- ・平成 29 年度は町最大の山田中央団地（146 戸）、船越第 1 団地（21 戸）、長崎第 2 団地（42 戸）の 3 団地で実施。

○山田中央団地のコミュニティ形成支援

- ・顔合わせ交流会を 3 回実施。入居者が課題や不満等を発表、それら諸課題を解決するのは住民自身の力である事に気付いてもらい、自治会組織の必要性に繋げる。
- ・自治会設立準備委員会を 2 回実施。集合住宅のルールづくりの大きな柱である共益費（廊下や集会施設等共用部分の維持管理に関する経費）の集金を誰が行い、どこに支払うのかを決定。
- ・自治会活動経験者や地域の実情に精通した人材を配置し、伴奏型で支援していく必要があるため、地域コミュニティ支援員を検討している。



旅費計算書

視察期間	平成29年8月17日(木)～19日(土)	(会派名)	市民派無所属西東京
視察先	新潟県糸魚川市・十日町市		納田 さおり
視察項目	糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者GHと古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察		(参加人数 1名)

日付	発(場所)	着(場所)	利用交通機関	距離(km)	金額	備考
8/17(木)	自宅	糸魚川市役所	自家用車	332.8	7,316	ガソリン代:1,476円 関越自動車道他:5,840円 (ETC利用 練馬～糸魚川軽)
8/18(金)	ホテル国富アネックス	まつだい雪国農耕文化村センター農舞台	自家用車	87.5	2,357	ガソリン代:387円 北陸自動車道:1,970円 (ETC利用 糸魚川～柏崎軽)
8/19(土)	十日町市立図書館	自宅	自家用車	214.0	3,890	ガソリン代:950円 関越自動車道:2,940円 (ETC利用 六日町～練馬軽)
小 計					13,563	
日 当	2,500円 × 3 日				7,500	
宿泊費	9,006 円 ×	1	泊		9,006	ホテル国富アネックス
	7600 円 ×	1	泊		7,600	十日町ふれあいの宿交流館
参加費等					2,000	大地の芸術祭チケット代金
					3,378	視察先お土産
合 計(1人当り)					43,047	
総合計	1 名				43,047	

領収書添付用紙

8-1
8-4
整理番号 8-8

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号

調査研修費		【内容説明欄】 糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者 GH と古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

請求明細

※記載されているご利用内容は、代表商品名または加盟店名の記載となっております。
 ※年会費は毎年、おさまのご入金月に請求させていただきます。
 ※事前登録型リボサービス[あんしんリボ]により、ショッピングリボルビング支払いに変更となった場合は、[備考]の欄に「※」印がごさいます。
 ※EMアイポイントの獲得・利用の明細につきましては、EMアイカードホームページからご確認ください。

作成日 2017年10月 8日 (2 / 2)

お客様番号 1482400536

ご利用期間 2017年 9月 6日~2017年10月 5日

(単位:円)

ご利用年月日	ご利用内容/ご利用店舗	ご利用額 (内 現金/ポイント利用分)	支払 区分	今回 回数	今回お支払額 (内 手数料・利息)	備考
***** 納田 里織様ご利用分		お支払額小計				*****
17/08/17	ETC売上	5,840	1回		5,840	入口:練馬 出口:糸魚川 軽
17/08/18	ETC売上	1,970	1回		1,970	入口:糸魚川 出口:柏崎 軽
17/08/19	ETC売上	2,940	1回		2,940	入口:六日町 出口:練馬 軽



e燃費とは よくあるご質問 お問い合わせ 会員登録

- ホーム 燃費入力 燃費ランキング 車レビュー マイカー管理 ガソリンスタンド検索 車種検索 ニュース
- 検索フォーム 地図検索 ガソリン価格推移

ホーム ガソリンスタンド検索 最近1年間のレギュラー価格

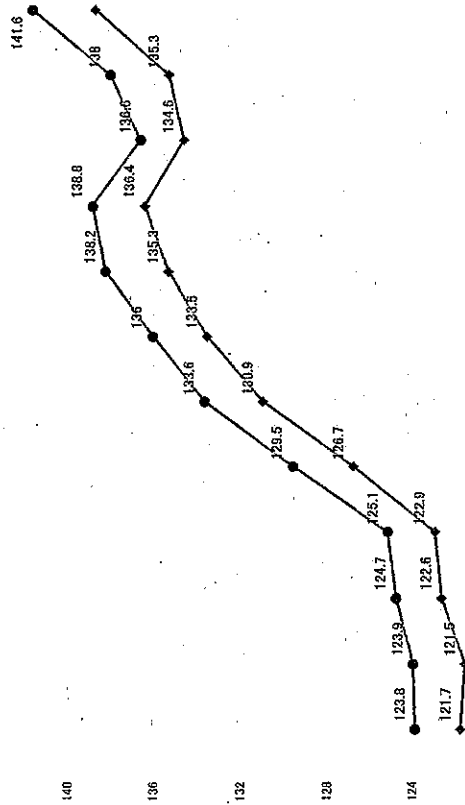
最近1年間のレギュラー価格

検索フォーム 地図検索 **ガソリン価格推移** 都道府県平均 ガソリン価格ランキング スタンド一覧

ガソリン価格 推移期間

最近1ヶ月のレギュラー価格	最近1ヶ月のハイオク価格	最近1ヶ月の軽油価格
最近1年間のレギュラー価格	最近1年間のハイオク価格	最近1年間の軽油価格
最近3年間のレギュラー価格	最近3年間のハイオク価格	最近3年間の軽油価格
最近5年間のレギュラー価格	最近5年間のハイオク価格	最近5年間の軽油価格

144



144	140	136	132	128	124	120					
17年 6月	17年 7月	17年 8月	17年 9月	17年 10月	17年 11月	17年 12月	18年 1月	18年 2月	18年 3月	18年 4月	18年 5月

● レギュラー価格 (円/L) ▲ ハイオク価格 (円/L) ◆ 軽油価格 (円/L)

ログイン (会員登録の方)

メールアドレスを入力して下さい。

パスワードを入力して下さい。

次回から自動的にログイン

パスワード再入力

Facebookでログイン

Twitterでログイン

Google+でログイン

ガソリン代 算出根拠
その1

カーセンサー

総額表示No.1 お得・納得！中古車探し
PRODUCED BY RECRUIT

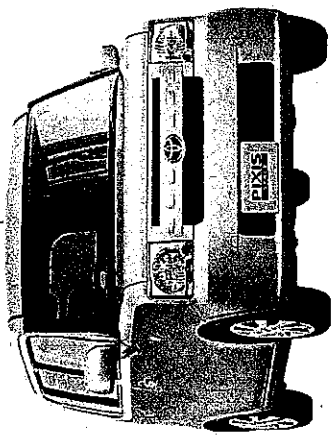
ログイン 閲覧履歴 お気に入り

中古車 輸入車 カタログ 中古車販売店 カー用品通販 保険/ローン/他 車検 車買取 車買取り記事

中古車トップ > 中古車メーカー一覧 > トヨタの中古車 > ピクシススペースの中古車 > ピクシススペースの燃費
中古車トップ > 燃費ランキング > トヨタの燃費ランキング > ピクシススペースの燃費

トヨタ ピクシススペースの燃費・総合情報 (歴代のモデル別燃費情報)

JC08モード、10・15モードとは？



JC08 **21.4~27.6**km/L ※10・15モード 18.2~27.5km/L

価格	112万円~167万円
排気量	658cc

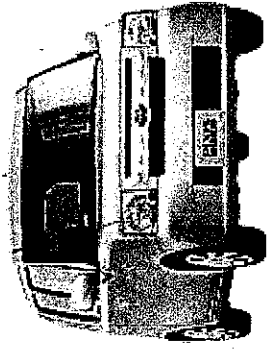
総合評価: 3.8 クチコミ数: 106件

この車種の中古車を探す

ピクシススペースのカタログ情報を見る | ピクシススペースの相場を見る | ピクシススペースと他の車種を比較する

※ 燃費情報は定められた試験条件の下での数値のため、走行条件等により実際の燃料消費率は異なります。

ピクシススペース (11年09月~17年01月)の燃費 初代



JC08 **21.4~27.6**km/L ※10・15モード 18.2~27.5km/L

トヨタ初となる軽自動車

トヨタとダイハツとの間で合意した軽自動車OEM供給の第一弾となるモデルが、ピクシススペースとなる。トヨタにとっては初の軽自動車モデルとなる。ベースとなったのは、ダイハツの

ピクシススペースとよく比較されている車

- アルファ ロメオ ジュリエッタ
JC08 **10.8~15.6**km/L
※ 10・15モード 11.5km/L
- ホンダ N-BOX
JC08 **18.2~27**km/L
※ 10・15モード 18.8~24.5km/L
- ホンダ N-BOX+
JC08 **18.8~24.4**km/L
- マツダ デミオ
JC08 **16.6~30**km/L
※ 10・15モード 13.8~30km/L
- メルセデス・ベンツ Bクラス
JC08 **14.3~17.3**km/L
※ 10・15モード 11.2~16.4km/L
- 三菱 eKワゴン
JC08 **21.8~26.8**km/L

ガソリン代算出根拠 1/3
292

交通費、ガソリン代の計算

TOP 税金計算 休業手当 失業保険の計算 休業手当 BMI(適正体重) 割引後の金額 年利 利息

スポンサーリンク (i) Ads by Google (距離ルート検索) (車地図ルート) (走行距離)

地図検索 - NAVITIME

計算式について

下記のテキストボックスにガソリン代、走行当たりの燃費(km/l)、走行距離を入力することで、交通費が算出できます。

ガソリン代は日々変化しますが、燃費も道や渋滞状況によって異なりますから完全に正確は無理ですが、だいたいの費用を導き出します。

ガソリン代1ℓ : 122.6 円 ; 整数の値を入れてください

走行当たりの燃費 : 27.6 km/l ; 1ℓでどれくらいの距離が走れるか

走行距離 : 332.4 km ; 出発地から目的地までの距離

算出

交通費 : 1476 円

ヘルプ/使い方

検索

地図を検索します (例: 港区赤坂、カフェ)

車ルート検索結果

条件変更>

2018年05月17日(木) 22時45分 出発

出発 東京都西東京市南町3丁目21-4 変更

目的 糸魚川市役所 変更

Myルートに追加

目的地周辺のパーク駐車を表示

有料道路 無料道路 距離優先 距離優先 ガソリン節約 距離優先

4時間5分 (22:43発 ▶ 02:48着)

総距離 332.4km

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 8-3

調査研修費		【内容説明欄】 糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者 GH と古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

8-3

領 収 証

No. _____

市民生活協会の
代表 納付あり 様

29年8月19日

★ ¥9006-

但 宿泊代 とて

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)

ホテル國富アネック

新潟県糸魚川市大字大野298番

TEL 025-550-1000

FAX 025-550-1000



コクヨ ウケ-78

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

交通費、ガソリン代の計算

TOP 税金計算 休業手当 失業保険の計算 休業手当 BMI(適正体重) 割引後の金額 年利 利息

スポンサードリンク ① Ads by Google (距離ルート検索) (車地図ルート) (走行距離)

地図検索 - NAVITIME

計算式について

下記のテキストボックスにガソリン代、走行当たりの燃費(km/l)、走行距離を入力することで、交通費が算出できます。

ガソリン代は日々変化しますし、燃費も道や渋滞状況によって異なりますから完全に正確は無理ですが、だいたいの費用を導き出します。

ガソリン代1ℓ : 122.6 円 : 整数の値を入れてください
走行当たりの燃費 : 27.6 km/l : 1Lでどれくらいの距離が走れるか
走行距離 : 87.3 km : 出発地から目的地までの距離

算出

交通費 : 387 円

ヘルプ/使い方 検索

車ルート検索結果 条件変更
2018年05月17日(木) 22時49分 出発
出発 ホテル国富アネックス 変更
目的 まつたい雪国農耕文化セン... 変更
Myルートに追加

目的地周辺のリパーク駐車場を表示

有料道路 無料道路 距離優先 距離優先 景観優先 景観優先

1時間23分 (22:43発 ▶ 00:06着)

総距離 87.3km

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 _____

調査研修費		【内容説明欄】 糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者 GH と古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】



ECHIGO-TSUMARI
ART FIELD 2017 SUMMER



大地の芸術祭

2017年

イリヤ&エミリア・カバコフ「人生のアーチ」photo: Osamu Nakamura

共通チケット

大人 2,000 円

有効期間: 2017.8.5 (土) - 20 (日)

【留意事項】

- この用紙は、該当経費の項目に○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくものです。ホームページ等で情報公開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにしてください。
- この【留意事項】を覆うように領収書を貼付けても結構です。

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 8-7

調査研修費		【内容説明欄】 糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者 GH と古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		
【領収書等添付欄】		

1/1ページ
8-7

御芳名 Name

納田 かおり 様
さ

請求明細書
(INVOICE)

十日町ふれあいの宿 交流館
〒948-0073新潟県十日町市丑376-1(稲荷町4)
TEL 025-752-3289

お部屋番号 Room No	ご到着日 Arrival	ご出発日 Departure	泊数 Nights	人数 PEASONS			担当 Clerk
				大人	小人A	小人B	
ぜんまい	17/8/18(金)	17/8/19(土)	1	1	0	0	

日付 Date	お部名称 Room No	ご利用明細 Description	単価 Unitprice	数量 QTY	金額 Amount
17/8/18(金)	ぜんまい	大人一泊	7,600	1	7,600

署名
Signature
会社名
Firm

ご請求額 Balance
¥ 7,600

御芳名 Name

納田 かおり 様

領収証
(RECEIPT)

発行月日 (Issue)

2017年8月

十日町ふれあいの宿 交流館
〒948-0073
新潟県十日町市丑376-1(稲荷町4)
TEL 025-752-3289

現金	
7,600	
領収額 Receipt	
¥	7,600

収入
印紙

担当
[Redacted]

上記金額正に領収いたしました。但し領収印がない場合は無効。
The above amount received. Unstamped receipts are invalid.

交通費、ガソリン代の計算

TOP 税金計算 休業手当 失業保険の計算 休業手当 BMI(適正体重) 割引後の金額 年利 利息

スポンサーリンク (距離ルート検索) (車地図ルート) (走行距離)

地図検索 - NAVITIME

計算式について

下記のテキストボックスにガソリン代、走行当たりの燃費(km/l)、走行距離を入力することで、交通費が算出できます。

ガソリン代は日々変化しますし、燃費も道や渋滞状況によって違いますから完全に正確は無理ですが、だいたいの費用を導き出します。

ガソリン代1ℓ : 122.6 円 : 整数の値を入れてください

走行当たりの燃費 : 27.6 km/l : 1ℓでどれくらいの距離が走れるか

走行距離 : 214.0 km : 出発地から目的地までの距離

算出

交通費 : 950 円

ヘルプ/使い方

地図を検索します (例: 港区赤坂、カフェ) 検索

条件変更>>

車ルート検索結果

2018年05月17日(木) 22時43分 出発

出発 十日町図書館

目的地 東京都東京市南阿3丁目21-4

Myルートに追加

目的地周辺のリパーク駐車場を表示

有料道路 距離優先 無料道路 距離優先

ガソリン 節約優先 高速優先

2時間54分 (22:43発 ▶ 01:37着)

総距離 214.0km

領収書添付用紙

経費項目 *該当費目に○をつけてください。

整理番号 9-10, 9-11

調査研修費		【内容説明欄】 糸魚川大火被災現場調査・糸魚川市議会復興対策調査特別委員会傍聴・十日町市大地の芸術祭視察・社会福祉法人あんしんの障がい者 GH と古民家活用による宿泊施設視察・笹山縄文遺跡視察・十日町市立図書館視察
視察研修費	○	
広報費		
広聴費		
資料作成費		
資料購入費		
事務費		

【領収書等添付欄】

領 収 証

9-11

納田 さおり 様 29 年 8 月 16 日

★ 7/189

但 品代として 十日町市議会議員
上記正に領収いたしました 大嶋 白お土産

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

株式会社旭製菓 田無店
〒188-0011 東京都西東京市田無町4-26-8
TEL.042-451-9258 FAX.042-451-9259

西東京 旭のかりんとう
名物 株式会社 旭製菓

田無店
電話 042-451-9258
営業時間 9:00-19:00

2017年08月16日(水) 16時38分

----- 外税 8.00% -----
000001 6種詰合せ ¥2,027
小計 1点 ¥2,027
(外税対象額 ¥2,027)
外税 8.00% ¥162
合計 ¥2,189
旭製菓ポイント1000 ¥1,000
現金 ¥1,500
お釣り ¥311

糸魚川市役所お土産
責任者: 午後シフト
店 No. 00001 ｼﾌﾄ: 0001 ｼﾌﾄNo. 9178

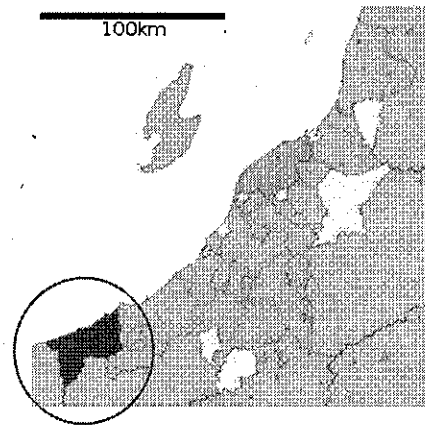
○をつけて経費項目毎に領収書を貼付けていただくもので開を行う関係から、領収書は重ねて貼付けしないようにし

領収書を貼付けても結構です。



新潟県糸魚川市視察報告書

日時：平成 29 年 8 月 17 日（木）
場所：新潟県糸魚川市議会、糸魚川地区公民館、糸魚川市教育委員会、糸魚川大火現地
テーマ：糸魚川大火と火災防災
視察対応：糸魚川地区公民館長・糸魚川市消防本部・糸魚川市教育委員会
同行：野村羊子三鷹市議他 4 人



1. 糸魚川市の概要

人口：43,961 人（H29 年 4 月 1 日）

世帯数：17,459 世帯

面積：746.24 km²（87%森林）

H17 年旧糸魚川市と能生町、青梅町が合併

産業：漁業、石灰・セメント製造、ヒスイ他

鉄道：JR 西日本北陸新幹線、えちごトキめき鉄

道、あいの風とやま鉄道

観光：糸魚川ユネスコ世界ジオパーク、フォッサマグナミュージアム他



糸魚川ユネスコ世界ジオパークにある糸魚川静岡構造線

2. 平成 28 年新潟県糸魚川市駅北大火

① 出火から鎮火まで

・出火：H28 年 12 月 22 日（木）10：20 頃

・鎮火：H28 年 12 月 23 日（金）16：30

* 鎮火まで約 30 時間

・出火場所：糸魚川市大町 1 丁目 2 番 7 号ラーメン店

・出火原因：大型コンロに鍋を熱したまま放置

* 店主は H29 年 11 月 15 日に新潟地裁高田支部で業務上失火の罪で

禁錮 3 年執行猶予 5 年の実刑判決

- ・焼損棟数：147 棟（全焼 120 棟・半焼 5 棟・部分焼 22 棟）
一般住宅 84 棟・空き家 16 棟・店舗併用 28 棟・飲食店 8 棟・
共同住宅 1 棟・作業所車庫 16 棟・店舗 10 棟

焼損面積：約 40,000 m²



出典：糸魚川市視察資料

② 避難勧告

12：22 本町・大町2丁目 273世帯 586人

16：30 大町1丁目 90世帯 158人

合計：363世帯 744人

避難勧告解除：12月24日(土)16：00

③ 被災者・負傷者の状況

被災者：145世帯 260人 56事業所

負傷者：17人（一般2人・消防団員15人）

* 中等症1人・軽症11人

<大規模火災でありながら死者ゼロ>

12:22 に防災行政無線で避難勧告。住民の半数以上が戸別受信機を整備していた為、すぐに状況把握。区長や近所の住民が声を掛け合って迅速・的確な避難を行い、その後消防団・警察官・自衛隊が留守の再確認を行って全員が避難出来た。出火が日中であった事も影響する。

④ 気象状況

12月22日(木)11:00

気温 18.4 度・湿度 54.7%

- ・発災当日、日本海側の低気圧に向かって冬場では珍しいフェーン現象による南からの暖かく乾燥した風が吹き込んでいた。このため、気象庁から強風注意報が発表されていた。

最大瞬間風速

10時:23.1m (南南東)

11時:21.2m (南南東)

12時:27.2m (南南東)

13時:26.0m (南)

14時:22.2m (南)

15時:19.4m (南)

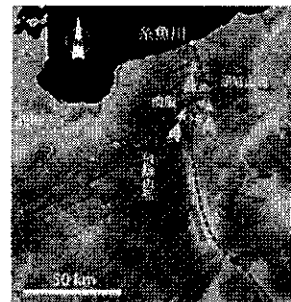
*観測場所:糸魚川消防本部

- ・糸魚川地方特有の強風は、「じもんの風」「焼山おろし」「蓮華おろし」と呼ばれている。

- ・フェーン現象:山の斜面を吹き上げる風が上昇する途中で雲を発生させ雨を降らせた場合、潜熱の放出が起こる。この為、頂上での温度の低下が弱まる。その後吹き下ろす段階で温度が上昇し、吹き上げ時の温度より高い温度になって暖かく乾燥した風になる現象をいう。



日本海上で低気圧が発達
12月22日12時



糸魚川・静岡構造線に沿って吹く南風が、飛騨山脈と頸城山塊の谷間で勢いが増幅する。



風向きは南南東→南。海に向かった風の為更なる延焼が免れたと地元の方々の声

⑤ 災害対策本部

12月22日13:00設置

糸魚川市駅北大火対策本部

本部長：市長

設置場所：糸魚川市役所 203・204 会議室

*H29年1月6日～市役所401会議室、3月13日～総務課事務室内

会議開催回数：H29年2月15日まで35回開催

⑥ 火災経過

12月22日(木)

9:30頃 火元のラーメン店が寸胴・中華鍋に火をかけたまま出かける。

9:45頃 出火、ガス栓が熱くて止められず水で初期消火。消火器は未使用。消火出来ず、隣人の元消防団員に助けを求め、水道ホースで消火を試みるも失敗。

10:28 隣人が119番通報・覚知
消防車：糸魚川消防署4台・青梅分署1台・早川分遣署1台・能生分署1台出動。

10:35 現場到着。
糸魚川指揮隊・タンク隊・ポンプ隊
消防1隊4台合流。
指揮本部長を消防署長とし、現場指揮本部を火元建物西側路上に設置。
逃げ遅れた住民の救助を最優先として延焼拡大防止を指示。

10:47 第2出動(広報・メール)



火元となったラーメン店
出典：糸魚川市消防本部資料

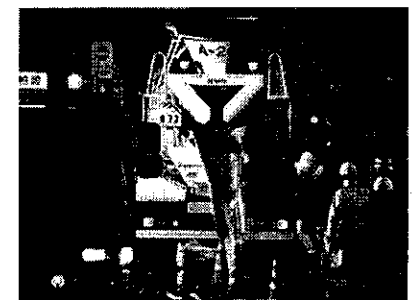


出火の現場で消火活動の様子を実際に現場にいた消防本部の方々に話を聞く

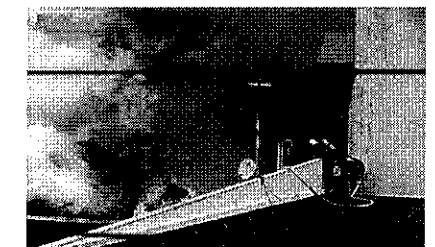
- 11:21 火元ラーメン店のある一角を取り囲み
一斉放水で鎮火に向かうと思われた矢
先、飛び火による出火を確認。
国交省シミュレーションで 15 か所。
- 11:35 延焼拡大で第 3 出動 (広報・メール)
- 12:00 上越地域消防事務組合消防本部・新川
地域消防組合消防本部へ応援要請。
- 12:22 避難勧告 (本町・大町 2 丁目)
- 12:26 第 4 出動 (広報・メール)
- 12:47 飛び火によりさらにエリア拡大。
熱と煙で活動出来ないエリアが生じ、
活動出来なくなった隊は東西の延焼を
阻止するために分散しながら配置。
水量不足が懸念された為、糸魚川地区
生コン組合にミキサー車出動を要請、
水の搬送開始。
国交省北陸地方整備局へ排水ポンプ
車・照明車の支援要請。
- 13:00 糸魚川市災害対策本部設置。
- 13:00 頃 糸魚川地区公民館駐車場が消防団員
(約 240 人) の詰め所に。
*市からダルマストープ 6 台確保
- 13:10 新潟県広域消防応援要請
県消防局のスーパーポンプ車が 1.7km
のホースで姫川港から海水を吸水。
- 13:59 自衛隊へ派遣要請(新潟県知事)
- 15:45 北アルプス広域連合消防本部へ応援要請
- 12:50 鎮圧
- 21:05 糸魚川市建設業協会へ重機の支援要請
- 12月23日(金)
- 13:30 自衛隊撤収
- 16:30 鎮火



襲い来る炎に立ち向かい懸命の消火活動 出典：糸魚川市消防本部資料



消防用水量不足が心配された時、地元
コンクリート事業者の機転によりミキ
サー車によって防火水槽まで水の運搬
を行う。 写真出典：朝日新聞



延焼を防ぐため。屋根上の消火活動も
多かったという。写真出典：新潟日報



新潟各方面の消防本部が応援に駆け
付け夜を徹しての消火活動を行う
写真出典：産経新聞

18:00 応援消防隊解散式



市道を挟んでも被害が拡大した。出典：糸魚川市消防本部資料

⑦ 出動組織・人員

●消防関係：2日間：消防車等 235 台 活動人員 1,887 人

12月22日：消防車等 122 台 活動人員 997 人

- ・市消防本部：消防車等 16 台・活動人員 74 人
- ・市消防団：消防車等 73 台・活動人員 760 人
- ・県応援消防隊：消防車等 29 台・活動人員 132 人

新潟市・長岡市・三条市・柏崎市・小千谷市・見附市・村上市・五泉市・阿賀野市・魚沼市・南魚沼市・阿賀町・加茂地域・燕・弥彦総合事務組合・新発田地域広域事務組合・十日町地域・上越地域消防事務組合・各消防本部（17 本部）

12月23日：消防車等 113 台 活動人員 890 人

- ・市消防本部：消防車等 16 台・活動人員 74 人
- ・市消防団：消防車等 68 台・活動人員 679 人
- ・県応援消防隊：消防車等 29 台・活動人員 137 人

（12月22日と同じ 17 本部）

<糸魚川市消防団の課題>

H17 年 1 市 2 町の合併時に、消防団は 3 方面隊制度という形を取っている。

(団員数 1027 人)

延焼が拡大し、3 方面隊 19 分団全てが出動したが、旧能生・青梅町の分団員は、被災地の地理性や水利を把握していないので、飛び火の確認や交通警戒に速やかに配置すべきだったが、コントロールする指揮活動が回らなかった。

今後は各方面隊の管轄を超えたソフトな連携訓練の強化が必要である。



●関係機関

北陸地方整備局：車両等 12 台（排水ポンプ車 4 台・照明車 8 台）・105 人

糸魚川警察署：所属 38 部署・515 人

陸上自衛隊：車両等 42 台（車両 36 台・ヘリ 6 機）・177 人

富山県防災ヘリ：ヘリ 1 機・5 人（上空からの火災調査）

* 新潟県防災ヘリ運休

●民間協力

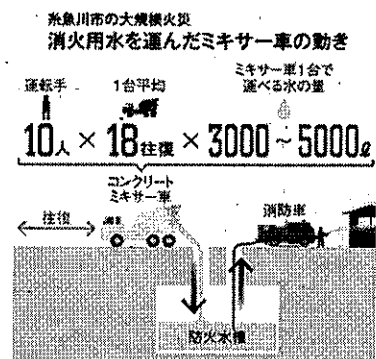
建設業関係：4 社・車両等 19 台（ショベルカー 8 台）・簡易水槽 13 基

製造業関係：3 社・ミキサー車 32 台

給油所関係：2 社・車両等 4 台（軽油社 2 台）

<ミキサー車による消防用水確保の経緯>

S62 年 4 月 21 日深山野球場で山火事があり、風速 38m の強風により 25 ヘクタールを焼失する大火事になった。水利が無い場所での消火活動が困難を極めたところ、ミキサー車により約 0.8 トンの消防用水を確保した経緯があった。この経緯を知っていたコンクリート会社の社長が機転を利かせ、生コン協会の横のつながりによって合計 32 台のミキサー車の出動となった。



⑧ 被災地域の特徴

- ・都市計画法の用途地域
商業地域(建蔽率 80%)・準防火地域

- ・昭和 7 年 12 月 21 日の大火では北西の強風に煽られて 368 棟が全焼した。今回の被災エリアはこの大火の被災エリアと重なる部分が多く、当時に復興建設された古い家屋が比較的多く残っていた地域だった

↓

細い敷地・狭い敷地、建物が密集。

建物境界幅が 10 cm という箇所もある。

裏道は 1~1.1m で裏口同士が向かい合わせ

となっており、消防活動の大きな支障に。

また、古い屋根瓦が飛び火による延焼を起こしやすかった。

- ・区域内に公園やオープンスペースもほとんど無かった事が延焼拡大の要因になった。

- ・区域内の人口構造

10 年間で -18.1% の人口減少率

高齢化率 48.8%

⑨ 避難所の状況

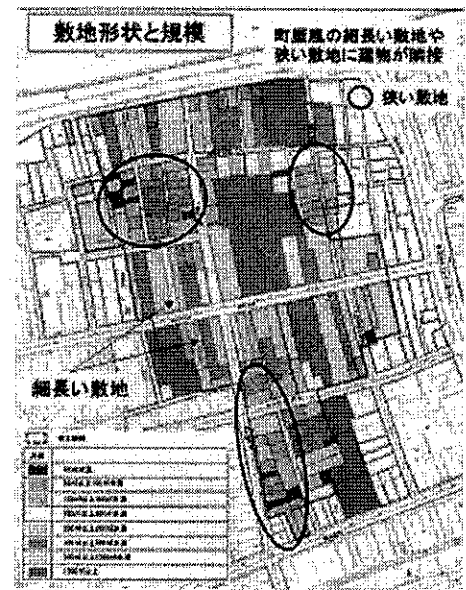
開設：12 月 22 日～1 月 5 日 15 日間

運営：市役所市民課対応、職員が運営

救援物資：下着類は本部で購入した。

男女共同参画の配慮：男性が 2 階、女性が 1 階と居住フロアを分けた。

(足の悪い男性は 1 階だが、のスペースを区切る)



・ 12 月 22 日(木)

11:35 糸魚川地区公民館避難所開設

11:47 最初の 2 人の避難者が訪れる。最終的に 40 人になった。女性・高齢者が多く、車いすが必要になり市役所に 2 台要請

12:25 風向きが変わり、公民館近隣に避難勧告
避難所は駅の南で風上にある市民会館に変更
市役所がマイクロバス(20 人乗り)を出し、
3 便に分けて移動

* 国道が封鎖され、富山側に迂回して入ったため時間がかかる

* 自宅が焼け気力を失った被災者が移動を嫌がる場面もあった

15:50 糸魚川市民会館避難所開設

15:55 糸魚川地区公民館から避難者の移動完了
最大避難者数 65 人

20:30 糸魚川市民会館(継続)・上刈会館・ホワイトクリフ (開設)



糸魚川地区公民館長

・ 12 月 24 日(土)

14:30 上刈会館・ホワイトクリフ(継続)

・ 12 月 28 日 (水)

7:30 上乃家旅館・ホテルジオパーク(開設)

・ 1 月 5 日(土)

12:00 避難所閉鎖

⑩ 仮設住宅

全てみなし仮設 (民間賃貸アパート・市営住宅)

56 戸 119 人(公営住宅 12 戸 34 人・民間 44 戸 85 人)

H29 年 7 月 31 日時点 53 世帯 105 人

*被災区域における土地・建物所有者の約 6 割が現地での再建を希望。火災前の人口の回復が目標。

⑪ ライフライン被害

ガス：保安閉栓 約 420 件（12 月 22 日 14：00）
12 月 25 日 21：00 供給再開完了
停電：12 月 22 日 11：05 駅周辺停電
12 月 23 日 6：00 約 500 戸停電
12 月 24 日 16：15 送電再開（焼損・不在世帯除く）
交通：国道 8 号 12 月 22 日 13：10 交通止め→12 月 23 日 9：00 解除

⑫ 災害法令の適用

12 月 22 日 災害救助法の適用
12 月 30 日 被災者生活再建支援法の適用
（火災として初めて適用。風害として）
1 月 13 日被災者説明会
1 月 22 日～受け付け

⑬ 被災者生活支援状況

- ・罹災証明書発行件数：1 月 22 日～ 204 件（車両 29 件・その他 1 件）
- ・生活支援金受付件数：1 月 22 日～ 95 件
- ・見舞金：12 月 29 日～ 164 件
- ・基礎支援金：12 月 22 日～ 97 件
- ・加算支援金：12 月 22 日～ 18 件

⑭ ボランティアの状況

- ・ボランティアセンター設置
名称：糸魚川市地域たすけあいボランティアセンター
所在地：ビーチホールまがたま内→市民会館内（12 月 26 日移設）
→ビーチホールまがたま内（1 月 21 日移設）
開設：12 月 23 日～

運営者：糸魚川市社会福祉協議会

*新潟県社協と新潟中越地震で経験のある長岡市社協の支援ノウハウが役立つ。他に神戸の元被災者、静岡、奈良、青森から支援に。

・ボランティア活動状況

○思い出の品探し作業 12月29日～2月頃 延べ約771人

- *糸魚川地区公民が中継地点に
- *がれきではなく、家財

○支援物資仕分け作業等 12月29日～延べ約308人

<視察風景>



実際に消火活動を行った糸魚川市消防本部の方々から、火災の多くを学んだ。



火災から8か月経過しようという時期でもまだ建物解体工事が進められていた。



消防用水の枯渇が課題となった糸魚川大火であるが、この通路の下には姫川から分流する豊富な水量の消防用水路があった。4万㎡の鎮火の難しさを実感する。



被災地東端の焼け止まりの道。煙と熱で活動出来なくなった際はここで懸命に延焼を食い止めた。

新潟県十日町市視察報告書その 1

日時：平成 29 年 8 月 18 日（木）～19 日（金）

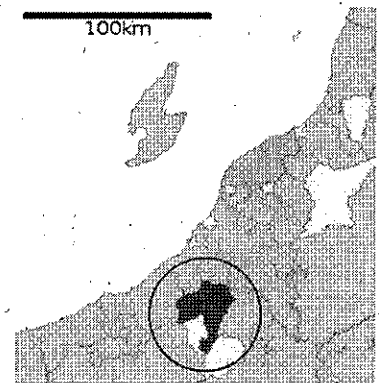
場所：新潟県十日町市

テーマ：地域資源を生かした世界規模の大地の芸術祭

トリエンナーレ：笹山縄文遺跡・十日町情報館の調査

視察場所：大地の芸術祭の里越後妻有 2017 各会場・十日町市博物館・笹山遺跡・十日町情報館（市立図書館）

視察対応：十日町市議会議員大嶋由紀子氏



1. 十日町市の概要

人口：53,681 人（平成 30 年 3 月 31 日現在）

世帯数：19,831 世帯

面積：590.39 km²

産業：繊維業（越後縮・十日町絨他）・農業（魚沼コシヒカリの大産地・野菜・豚肉）・ソフトウェア産業

鉄道：JR 東日本（飯山線）・北越急行（ほくほく線）



大嶋由紀子十日町市議と廃校をリノベーションした絵本と木の葉の美術館前にて

2. 大地の芸術祭の里越後妻有 2017

① 大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ

(1)概要

新潟県越後妻有地域（十日町市・津南町）の約 762 km²の広大な土地を美術館に見立て、「人間は自然に内包される」を理念に、アーティストと市民の協働による地域に根ざした作品を制作し発表する 3 年に 1 度の芸術祭。継続的な地域展望を持った芸術活動による「交流人口の増加」

「地域の情報発信」「地域の活性化」を主要目的にしている。

世界最大規模の国際芸術祭。

(2)経緯

平成 6 年地域の新潟県知事が提唱した広域地域活性化政策「ニューにいがた里創プラン」に十日町地域が指定を受け、平成 8 年に交流人口の拡大等を図る 10 か年計画「越後妻有アートネックレス整備構想」が樹立。翌平成 9 年に大地の芸術祭実行委員会が設立され、新潟県上越市（当時は高田市）出身のアートディレクター北川フラムを総合ディレクターに迎え、平成 12 年に第一回芸術祭が開催された。

(3)開催：3年に1度のトリエンナーレ形式を採用。

第1回：平成12年7月20日～9月10日（52日間）

32の国と地域から148組のアーティストが参加。公園等公共の場を含む28集落に153点出展。来場者数162,800人
ジェームズ・タレル「光の館」・マリーナ・アブラモヴィッチ「夢の家」が建設。

第2回：平成15年7月20日～9月7日（50日間）

23の国と地域から157組のアーティストが参加。38集落に220点を展示（うち恒久設置作品67点）。来場者数205,100人
十日町市の越後妻有里山現代美術館キナーレ・松代町「農舞台」・松之山町「森の学校キョロロ」等がこの回に合わせて建設。

第3回：平成18年7月23日～9月10日（50日間）

40の国と地域から225組のアーティストが参加。67集落に334点を展示（うち恒久設置作品131点）。来場者数348,997人
空き家・廃校プロジェクトが開催、宿泊施設「三省ハウス（旧松之山町立三省小学校・平成元年廃校）が開館。

第4回：平成21年7月26日～9月13日（50日間）

40の国と地域から353組のアーティストが参加。92集落に365点を展示（うち恒久設置作品149点）。来場者数375,311人

空き家・廃校プロジェクトとして「鉢&田島征三・絵本と木の実の美術館（十日町市立真田小学校平成 17 年廃校）」が開館。

第 5 回：平成 24 年 7 月 29 日～9 月 17 日（51 日間）

テーマ「震災からの復興」

44 の国と地域から 310 組のアーティストが参加。102 集落に 367 点を展示（うち恒久設置作品 189 点）。来場者数 488,848 人

東日本大震災と長野県北部地震と豪雪の影響で作品の 1/4 が全壊・半壊・損傷を受けた。

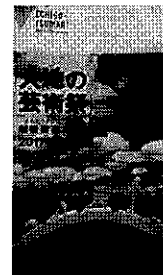
第 6 回：平成 27 年 7 月 26 日～9 月 13 日（50 日間）

テーマ「人間が自然・文明と関わる術こそが「美術」・都市と地域の交換」。35 の国と地域から 350 組のアーティストが参加。110 集落に 378 点を展示（うち恒久設置作品 189 点）。来場者数 510,690 人

② 大地の芸術祭の里 越後妻有 2017 夏

アートトリエンナーレの年以外でも、1 年を通じ、アートを媒介として地域に内在する様々な価値を掘り起こす事業を行っている。

季節ごとに 2 週間程の集中期間が設けられ、夏のプログラムのうち以下を視察した。



パンフレット

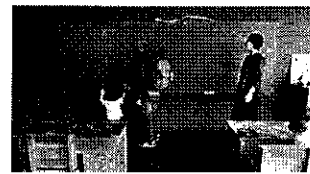
(1) まつだい農舞台



棚田を見上げるベンチの風景がすでに空間アート。



出口の解らないトイレ。一つのドアが出口。



豪雪地帯ならではの車庫がアートになっている。

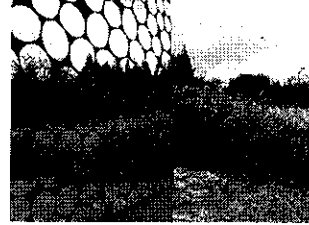
(2) 農業用倉庫・駅倉庫のリメイク



農業用倉庫を全面鏡貼りした行武治美術「再構築」



内部は全面鏡貼り



緑を映すのもアート効果



越後水沢駅
ジミー・リャオ作
「Kiss&Goodbye」



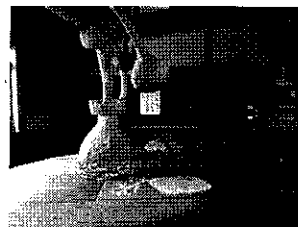
土市駅
ジミー・リャオ作
「Kiss&Goodbye」



土市駅の作品の内部

(3) 鉢&田島征三 絵本と木の実の美術館

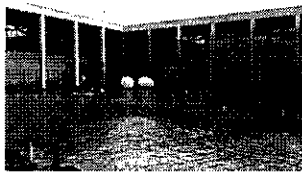
空き家・廃校プロジェクトの一環として、平成 17 年に廃校になった十日町市立真田小学校を田島征三氏が長年思い描いてきた丸ごと空間絵本美術館としてオープンした。テーマは「学校はカラッポにならない」。



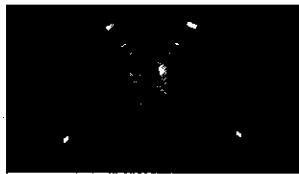
(4)越後妻有里山現代美術館キナーレ

平成 15 年「越後妻有交流館キナーレ」として竣工、設計は梅田スカイビルや京都駅の建築家で著名な原広司氏。平成 24 年に同氏により越後妻有里山現代美術館キナーレとしてリニューアル。

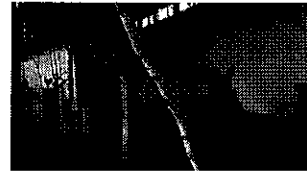
以後、大地の芸術祭の拠点施設として中心的な役割を果たしている。



「水遊び博覧会」
中央にある池に水を体験するアート作品が登場。



クワクポリョウタ「LOST」
十日町の象徴である織物器具等を投影。



越後妻有の自然や風土を体験できる展示になっている

③ 芸術祭運営のサポーター：こへび隊

全国・世界から集まる大地の芸術祭の老若男女のサポーター。

作品管理・作品制作・観客の案内・農作業・雪かき・地元の手伝い等「大地の芸術祭」に関するあらゆる活動を支援する。

こへび隊は、目標や規則、リーダーの存在する組織でも、体験学習でもない。

多岐にわたる越後妻有のニーズから、自分のやりたいこと、活かしたいスキルを発見し、各自で責任と自覚を持って活動している。



外国人のこへび隊

④ 十日町市・津南町移住セミナー

大地の芸術祭の里に住もう

ツマ리카フェ 2017「ツマリで仕事をはじめてみませんか」

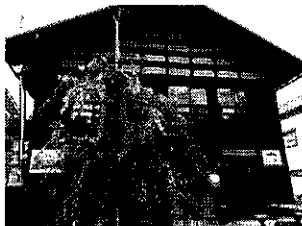
日時：平成 29 年 9 月 2 日(土)14:00~16:00

場所：東京表参道・新潟館ネスパス

主催：新潟県十日町地域振興局企画振興部

ゲストスピーカー

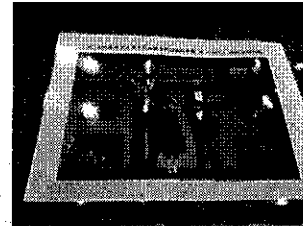
- ① カール・ベックス氏：ドイツ出身・古民家再生の建築家
- ② デイブ・パドック氏：米国出身・英語アウトドアプログラム主催



平成 22 年、ベックス氏は松代の歴史ある旅館を再生し、「まつだいカールベックスハウス」を開設。



1 階はカフェ営業。旅館時代の歴史年表や使用していた古民具が展示されている



ベックス氏は平成 29 年ふるさとづくり大賞内閣総理大臣賞を受賞

⑤ まつだい棚田バンク

大地の芸術祭で培ったネットワークを活かし、保全活動への協力（出資）・米作りに参加・オーナーになった面積、収穫量に応じてお米を配当という仕組みを取っている。

現在では全国の棚田バンクの中で、里親数・耕作面積共に日本一になった。

通年の管理・耕作は NPO 法人越後妻有里山協働機構の農業チームが担当する。女子サッカー選手が棚田の担い手として移住・就農してプレーする農業実業団チーム「FC 越後妻有」も含まれる。



松代地区の棚田（まつだい農舞台より）

⑥ NPO 法人越後妻有里山協働機構

平成 20 年設立。大地の芸術祭で生まれた作品・施設・プロジェクトを、通年事業として運営する。地元出身者のみならず、県内外からの移住者約 30 人のスタッフにより構成（平成 29 年度現在）。

3 年に 1 度のアートトリエンナーレの実施、合間の 2 年間の作品メンテナンス、企画展・イベント・ワークショップの開催、農業、ツアーの実施、お米やグッズの販売、飲食・宿泊施設の運営を、地元住民とアーティスト、こへび隊と協働で行っている。

3. 笹山遺跡と国宝火焰型土器

① 笹山遺跡

平成 4 年十日町市史跡に指定。

信濃川右岸段丘上に位置し、縄文時代の集落跡と、鎌倉～戦国時代の居館跡との重層遺跡で、昭和 55 年から十日町市教育委員会により断続的に発掘調査が行われている。

笹山縄文ムラは、縄文時代中期前葉から後期前葉までの紀元前約 3,300 年～2,300 年の約 1,000 年間存在した。

平成 27 年現在、縄文時代の遺跡としては、竪穴住居跡 13 基、炉跡 105 基、土器埋設遺構 30 基以上、土坑あと 10 基と、大量の土器・石器等が発掘。出土品の一部は遺跡内にある笹山縄文館にも保管されている。竪穴住居が環状、ないし馬蹄形に配列された集落だったと想定されているが、集落東側の住居部分はいまだ不明。

現在、復元竪穴住居 2 棟と土器モニュメントが設置されている。



復元竪穴住居は 2 棟ある。炉跡等忠実に再現されている。



笹山縄文館では発掘された出土品の保管も行っている。



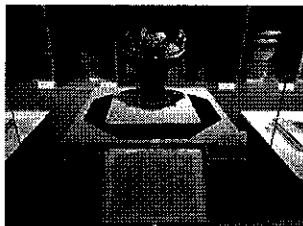
笹山縄文館を運営する NPO 法人笹山縄文の里事務局長の野沢氏は縄文ダンサー。

② 国宝 火焰型土器

昭和 55 年から昭和 61 年にかけて出土した火焰型土器 57 点は、平成 11 年に国宝「新潟県笹山遺跡出土深鉢型土器」に指定され、十日町市博物館に収蔵・展示されている。

特に指定番号 1 番は「縄文雪炎（ゆきほむら）」という愛称を付けられ、歴史教科書でなじみが深い。

新潟圏域では、約 5,300 年前に火焰型土器というスタイルを生み出し、少しずつ形を変えながら約 4,800 年前まで続いた。



十日町市博物館に展示される
指定番号1号「縄文雪炎」



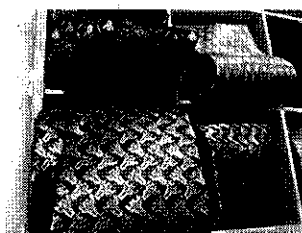
国宝の火焰型土器は計57点



国宝火焰式土器の発掘現場



十日町市博物館には縄文時代の
生活が再現されている。



火焰型土器をモチーフにした
ネクタイの販売もある。



十日町市博物館全景

③ 日本遺産の認定

平成 28 年 4 月 25 日、新潟市・三条市・長岡市・十日町市・津南町で申請したストーリー『「なんだ、コレは！」信濃川下流の火焰型土器と雪国の文化』が日本遺産に認定。

ストーリーは、大仰な 4 つの突起を持つ火焰型土器の芸術性を発見した岡本太郎氏が「なんだ、コレは！」と叫んだというエピソードにちなむ。ストーリーを構成する文化財は 60 件である。

* 日本遺産：地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の文化・伝統を語るストーリーを文化庁が認定する制度。

④ 縄文文化を通じた広域交流

長野県小県郡長和町における「黒曜石のふるさと祭り」に参加。星糞峠から約 7,000 年前から採掘されていた黒曜石は広域に頒布され、笹山遺跡のみならず、西東京市の下野谷遺跡でも発掘されている。

* 参考：平成 28 年 12 月 11 日第 2 回下野谷遺跡国史跡指定記念シンポジウム「森・海・山の縄文」

4. 十日町情報館（十日町図書館）

① 十日町情報館の役割

平成 23 年 2 月十日町情報館協議会

- ・全ての市民が読書の楽しさと知る喜びを感じる情報館。
- ・市民が必要とする情報を提供する事で、市民の自立を支援し、自立した市民によるまちづくりを支える情報館。

② 建物の概要

平成 9 年 1 月着工・平成 11 年 3 月完工

地上 2 階建て・鉄筋コンクリート造（一部 PC 造）

延床面積 4,499 m²

建築面積 3,138 m²

③ 事業費・財源

工事費：1,768,620 千円

設計監理費：111,988 千円

その他事務費：39,394 千円

合計：1,920,002 千円

<財源>

国庫補助金（街並み・まちづくり総合支援事業（建設省都市局））：

640,000 千円

新潟県補助金：500,000 千円

広域圏負担金：7,261 千円

十日町市一般財源：772,741 千円

④ 蔵書数

図書 8 万冊・新聞 18 紙・雑誌 230 タイトル

音声映像資料（ビデオ・CD）約 5 千点

閉架書庫 7 万冊

⑤ 地域資料の提供

十日町市史編纂資料の整理・保存・活用
古文書の収蔵

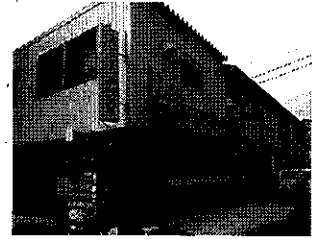
⑥ 映画「図書館戦争」

平成 24 年 10 月、11 月に映画「図書館戦争」実写版のロケ現場になっ
た。



新潟県十日町市視察報告書その2

日時：平成 29 年 8 月 18 日（金）16：00～
場所：新潟県十日町市 NPO 法人支援センターあんしん
各施設（ふれあいの宿交流館には宿泊）
テーマ：障がい者就労における重層的支援の効果と展望
について
視察対応：NPO 法人支援センターあんしん 会長樋口功氏



1. NPO 法人支援センターあんしんの概要

所在地：十日町市稲荷町 4 丁目 367-1
会長：樋口 功
正規職員：17 人
臨時・パート職員：69 人
設立年月日：平成 14 年 10 月 31 日

*会長の樋口氏のお嬢様が知的障がい者との事で、障がい者であっても自分らしく人生を送れるように小規模作業所を立ち上げた事がスタートとお聞きした。

2. 事業の内容

① 多機能型事業所 ワークセンターあんしん

(1) 就労継続支援事業 B 型

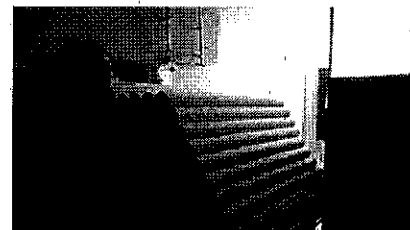
ワークセンターあんしん

定員 57 人

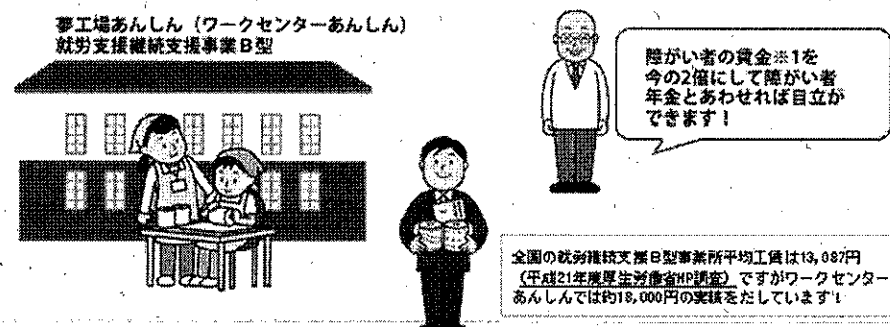
事業内容：トイレットペーパー製造

会員数：約 350 社

工賃：約 23,000 円（平成 26 年厚労省・新潟県 B 型作業所平均 14,148 円）



夢工場あんしん (ワークセンターあんしん)
就労支援継続支援事業B型




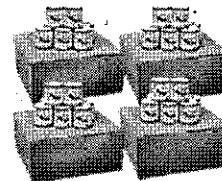
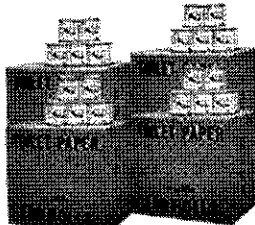
障がい者の賃金※1を今の2倍にして障がい者年金とあわせれば目立ができます!

全国の就労継続支援B型事業所平均工賃は13,087円 (平成21年度厚生労働省HP調査) ですがワークセンターあんしんでは約18,000円の実績をだしています!

控手紙も同梱しています!

購入支援 仕事の提供

年会員

A会員	B会員	C会員
2~3人家族	3~5人家族	5~8人オフィス
20個詰め 年4回 (3ヵ月毎) 2,960円/会費	50個詰め 年4回 (3ヵ月毎) 7,400円/会費	100個詰め 年4回 (3ヵ月毎) 14,800円/会費
		

出典：NPO 法人支援センターあんしん HP

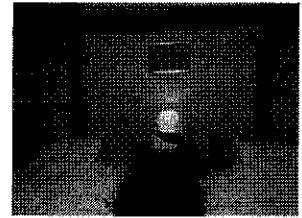
*主力商品であるラッピングトイレットペーパーは、十日町市の成人式のプレゼントや企業の式典等の贈呈品としても活用されている。



(2) 就労継続支援事業 B 型

あんしんらんどリー：定員 5 人

・ふれあいの宿交流館のリネン提供

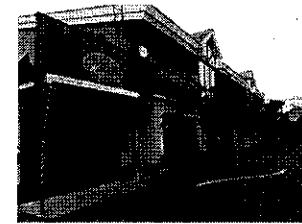


ふれあいの宿交流館の
リネン

(3) 生活介護事業所

・あんしんサポートセンターメロディ：定員 6 人

・あんしんケアセンターハーモニー：定員 6 人



あんしんケアセンター
ハーモニー

② 地域生活支援事業

(デイサービスセンターあんしん)

・土曜日のみ。定員：なし 生活支援員：5 人

③ 十日町市立ふれあいの丘支援学級及び新潟県立
小出特別支援学校川西分校児童・生徒送迎事業
(市委託事業)

・両校の児童・生徒 40 人の登下校の送迎を福祉
車両 5 台で実施



送迎事業で利用する車輛

④ 日中一時支援事業 (市委託事業)

⑤ 共同生活援助事業 (グループホーム)

(1) グループホーム若竹 定員：5 人

(2) グループホームやすらぎの家 定員：6 人

(3) グループホームみずならの家 定員：5 人

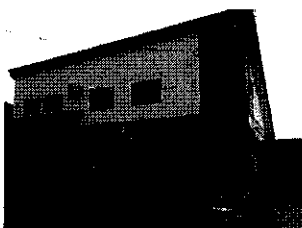
(4) グループホーム榎の家 定員：5 人

(5) グループホーム逢坂の家 定員：5 人

(6) グループホーム金剛荘 定員：5 人



グループホーム若竹の家



グループホーム逢坂の家



グループホーム内部

*なぜ多くのグループホームの物件を獲得できるのか。

→豪雪地域特有の事情で空き家になりがちな物件を、会長自らが地域を歩いて探している。



現在、右写真のような高床式戸建てが主流となっており、べた床の建物は転売が難しい為、空き家になりがち。このため、安価で入手しやすい。

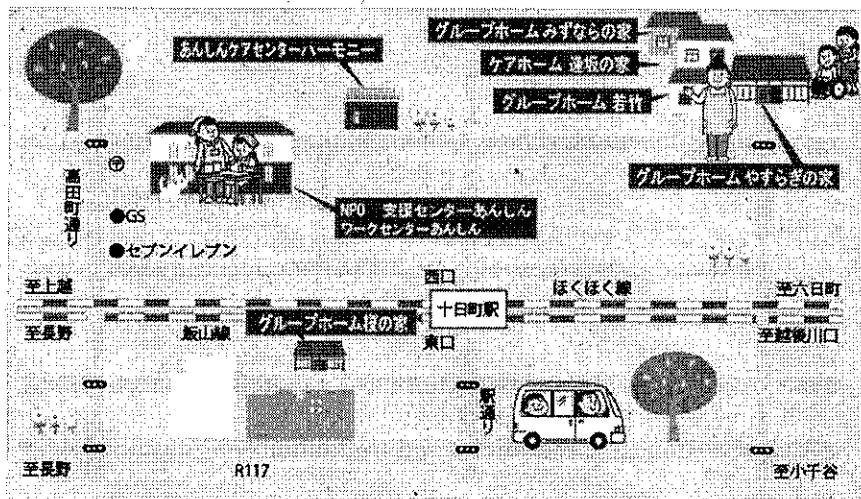


豪雪地帯特有の高床式の戸建て。高床部分は車庫になっているケースが多い。

* 地域丸ごと共生社会

あんしんでは、職住接近の施設配置をモットーとし、自分で働いた工賃と障がい者年金で障がい者が安心して暮らせる地域を目指している。

また、グループホームの支援員には地域の主婦に参加してもらい、そこに暮らす障がい者への理解を地域全体に浸透させる役割を担ってもらっている。



NPO 法人支援センターあんしんから徒歩 10～15 分圏内にグループホームが点在。職住近接の共生社会となっている。
出典：NPO 法人支援センターあんしん HP

⑥ その他

(1)十日町ふれあいの宿交流館

古民家を改築した民宿。清掃・庭の手入れ等、支援センターあんしんの施設外就労事業として行っている。

研修や視察の受け入れの際の宿泊所としても活用されている。



築 40 年の雪国独特のせがいで造りの古民家を宿泊施設としてリノベーション。水田を見下ろす快適な宿だった。

(2)あんしんペレット工場

平成 25 年本格稼働、きのこの廃菌床を原料にした木質ペレット工場。灯油の販売価格より 2~3 割安価。

(1) ひまわり福祉給食

ふれあいの宿交流館・グループホーム等に食事の提供。
支援センターあんしんの施設外就労の場となっている。



(2) あんしんグリーンハウス

農福連携の取り組み。冬期の就労効果に繋がる。

ひまわり福祉給食に食材提供している。

グループホームでは、ひまわり福祉給食で調理した食事が提供される。あんしんグリーンハウスで収穫された野菜も食材として活用されている。

3. 事業進捗状況

- 平成 14 年 10 月 31 日 NPO 法人支援センターあんしん設立
11 月 1 日 小規模作業所ワークセンターあんしん開所
平成 15 年 4 月 1 日 小出擁護学校ふれあいの丘分児童・生徒の通学送迎開始（十日町市・川西町・中里村より委託事業）
6 月 24 日 新潟県勤労者福祉財団より NPO 助成金 100 万円決定

- 7月10日 地域福祉を考える情報誌「あんしん」創刊号発行
- 11月1日 十日町市子371番地に工場を借り、機械を整備してトイレットペーパーの製造開始
- 平成16年7月20日 障がい者支援費制度基準該当居宅支援事業所登録申請
(十日町市・津南町・川西町・中里村・松代町・松之山町)
- 9月1日 障がい者支援費制度基準該当居宅支援事業、知的障がい者デイサービス事業開始
- 10月23日 中越大地震(震度6強)によりワークセンターあんしんの工場半壊。地震発生が土曜日の夕方であったため。利用者・職員共に施設はいなかったため人的被害は免れた。
- 11月1日 デイサービスを再開。
ワークセンターの建物が半壊し利用できる状況ではなかった為、隣接の「まごころの家」を借りて作業再開
- 平成17年1月12日 ワークセンターの建物を購入し(100万円)改築。
土地について賃貸借契約を行う。
- 2月23日 難民を助ける会主催「新潟県中越地震被災者のためのチャリティーコンサート」を開催。利用者・職員の代表が招待され、皇后美智子様と交流。
- 5月26日 ワークセンターあんしん再建開所式・祝賀会
- 10月10日 クロネコヤマトのメール便配送業務をワークセンターで開始
- 平成19年4月1日 障害者自立支援法施行 就労支援継続事業B型
ワークセンターあんしん開始
- 6月1日 グループホーム若竹開始
- 7月26日 白中一時支援事業開始
- 平成20年8月20日 やすらぎの家開始
- 平成21年4月1日 ケアホーム逢坂の家開始
- 7月1日 かわむし作業開始
- 11月1日 みずならの家開始

平成 22 年 4 月 1 日	ワークセンターあんしん多機能型事業所（就労継続支援事業 B 型・生活介護）へ変更申請 従たる事業所あんしんらんどりー開始
平成 23 年 4 月 1 日	生活介護事業あんしんケアセンターハーモニー開始 グループホーム榎の家開始
平成 24 年 4 月	10 周年記念沖縄旅行（ワークセンター参加者 37 人、11 月・生活介護利用者 7 人参加）

4. あんしんの就労効果

障がい者支援策を地域の中で重層的に組み合わせる循環させることで、就労効果が高まっている。

会長はじめ職員一人一人が地域に根差して常にニーズを掘り起こし、外部組織との連携を柔軟に図っている事が、正のスパイラルを生み出していると実感した。

